

2024年3月期決算説明資料

ヤマシンフィルタ株式会社

2024年5月24日

- 北米中心に建機市場は概ね堅調に推移、販売数量減少により前年比減収
- 適正価格への価格転嫁実施により、収益改善は着実に進展

建機用フィルタ事業（事業環境）



エアフィルタ事業（事業環境）

オフィスビル等の交換需要は堅調に推移
CO2削減や健康や環境被害の低減に貢献する

**製品の高い競争力・信頼性を活かし
ビジネスの拡大を図る**

2024年3月期
業績動向

連結売上高：**180億24百万円**

前年同期比：**3.1%減収**

連結営業利益：**14億11百万円**

前年同期比：**14.3%増益**

※自己資本比率：**82.1%**

建機用フィルタ

前年同期比 3.5%減収 153億82百万円

中国以外の主要市場における建機の稼働時間と新車需要は概ね堅調に推移、前年比では販売数量減少により減収

エアフィルタ

前年同期比 0.7%減収 26億42百万円

ビル空調用フィルタの交換需要は堅調に推移

I

2024年3月期第4四半期実績及び2025年3月期通期業績見通し

P3

II

市場を取り巻く環境

P33

III

今後の戦略

P48

決算

I 2024年3月期第4四半期実績及び 2025年3月期通期業績見通し

2024年3月期 第4四半期業績 (2024年1月-3月)

	2023/3期 Q4 実績		2024/3期 Q4 実績		前年同期比	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率	
売上高	4,486	4,716	230	5.1%		
建機用フィルタ※	3,794	4,057	263	6.9%		
エアフィルタ	692	659	△32	△4.8%		
営業利益 (セグメント利益)	167	472	304	181.8%		
建機用フィルタ※	127	453	325	254.9%		
エアフィルタ	39	18	△21	△52.8%		
営業利益率	3.7%	10.0%	6.3Pt			
経常利益	75	474	398	524.6%		
経常利益率	1.7%	10.1%	8.4Pt			
四半期純利益	98	148	49	50.6%		
四半期純利益率	2.2%	3.2%	1.0Pt			
為替レート (円) (期中平均値)	USD	135.5	144.6	9.2	6.7%	
	EUR	141.0	156.8	15.8	11.2%	

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

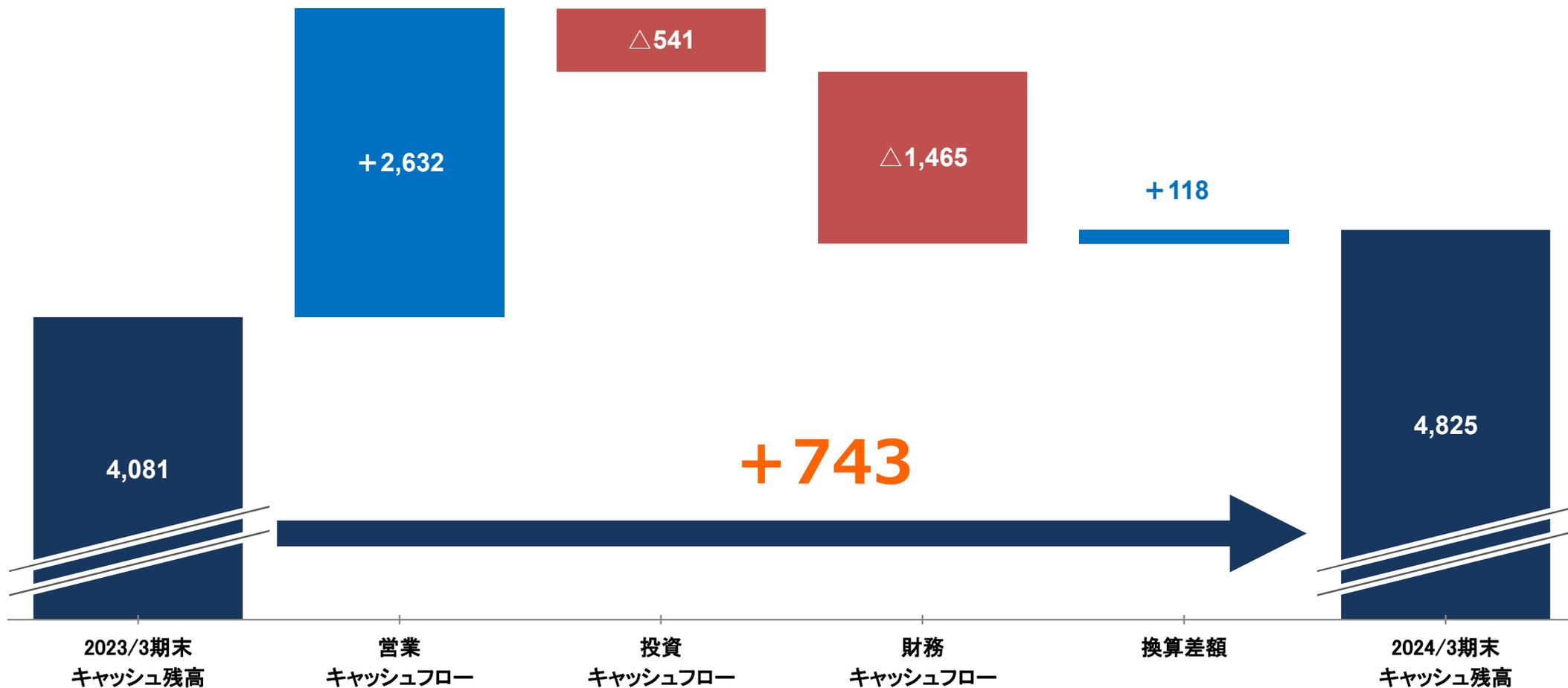
(単位：百万円)

	2023/3期 末	2024/3期 末	増減額	増減率
流動資産	12,923	13,487	564	4.4%
現金及び預金	4,113	5,065	951	23.1%
受取手形及び売掛金	4,446	4,815	368	8.3%
棚卸資産	4,141	3,408	△ 732	△ 17.7%
その他	221	199	△ 22	△ 10.1%
固定資産	12,658	12,455	△ 202	△ 1.6%
有形固定資産	11,683	11,328	△ 355	△ 3.0%
無形固定資産	172	209	36	21.3%
投資その他資産	801	917	116	14.5%
資産合計	25,581	25,943	361	1.4%

	2023/3期 末	2024/3期 末	増減額	増減率
流動負債	3,343	3,827	484	14.5%
支払手形及び買掛金	1,453	1,647	194	13.4%
短期借入金及び 1年内返済予定 長期借入金	683	628	△ 55	△ 8.0%
その他	1,206	1,552	345	28.6%
固定負債	1,260	816	△ 444	△ 35.2%
長期借入金	722	319	△ 403	△ 55.8%
退職給付に係る負債	257	290	32	12.6%
その他	280	206	△ 73	△ 26.2%
純資産合計	20,977	21,299	321	1.5%
負債・純資産合計	25,581	25,943	361	1.4%

自己資本比率 82.0% 82.1%

(単位：百万円)



※ 1年未満に満期が到来する長期性預金(2023/3月期末 32百万円・2024/3月期末 239百万円)については現金及び現金同等物の期末残高に含めておりません。

	2023/3期 Q4 実績	2024/3期 Q4 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	3,415	3,708	292	8.6%
ライン品	1,585	1,374	△210	△13.3%
補給品	1,830	2,333	503	27.5%
産業用フィルタ	178	170	△7	△4.4%
プロセス用フィルタ	200	178	△21	△10.9%
建機用フィルタ 合計	3,794	4,057	263	6.9%
エアフィルタ	692	659	△32	△4.8%
売上高合計	4,486	4,716	230	5.1%

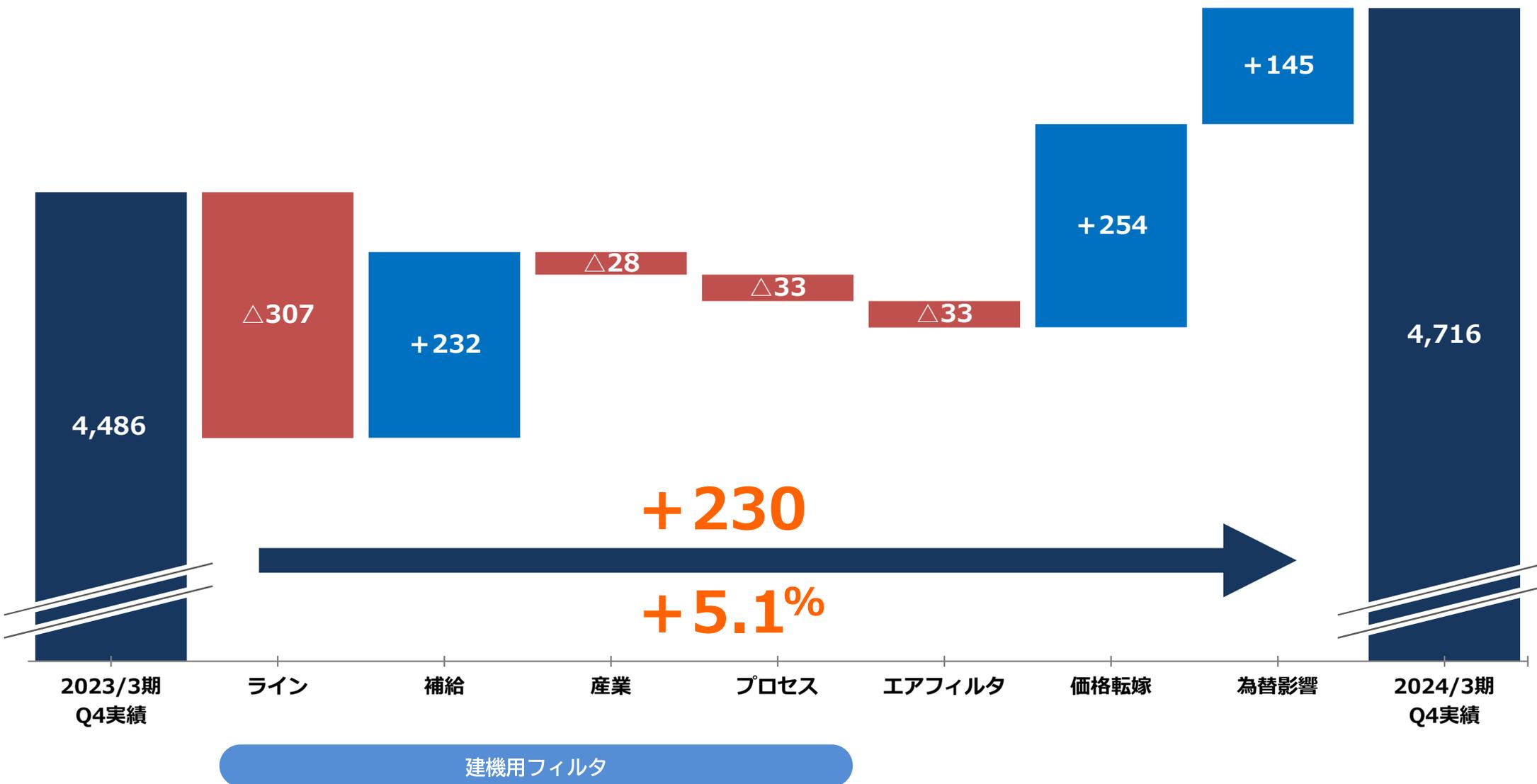
	2023/3期 Q4 実績		2024/3期 Q4 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	3,794	84.6%	4,057	86.0%	263	6.9%
国内	1,848	41.2%	1,741	36.9%	△107	△5.8%
北米	677	15.1%	1,036	22.0%	358	53.0%
中国	419	9.3%	297	6.3%	△121	△29.0%
アジア	422	9.4%	521	11.1%	98	23.4%
欧州	426	9.5%	458	9.7%	31	7.4%
その他（中東他）	0	0.0%	2	0.1%	2	1,122.8%
エアフィルタ（国内）	692	15.4%	659	14.0%	△32	△4.8%
売上高合計	4,486	100.0%	4,716	100.0%	230	5.1%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

売上高の増減要因 (2024/1-3)

(単位 : 百万円)

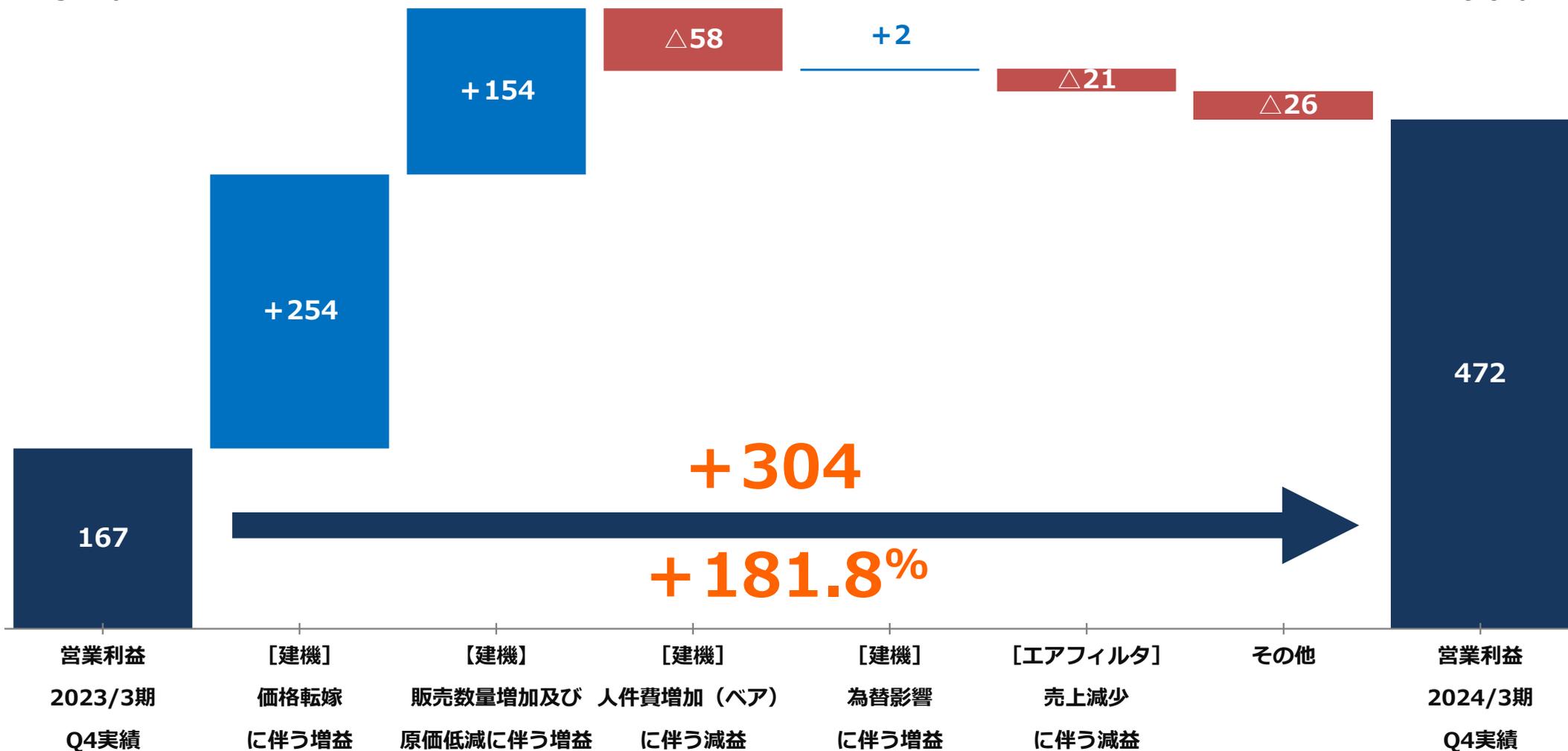


営業利益の増減要因 (2024/1-3)

(単位：百万円)

営業利益率
3.7%

営業利益率
10.0%



2024年3月期 業績 (2023年4月-2024年3月)

	2023/3期 実績		2024/3期 実績		前期比	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率	
売上高	18,605	18,024	△580	△3.1%		
建機用フィルタ※	15,945	15,382	△563	△3.5%		
エアフィルタ	2,659	2,642	△17	△0.7%		
営業利益 (セグメント利益)	1,235	1,411	176	14.3%		
建機用フィルタ※	1,150	1,320	169	14.7%		
エアフィルタ	84	91	6	7.7%		
営業利益率	6.6%	7.8%	1.2Pt			
経常利益	915	1,415	500	54.7%		
経常利益率	4.9%	7.9%	2.9Pt			
当期純利益	645	786	141	21.9%		
当期純利益率	3.5%	4.4%	0.9Pt			
為替レート (円) (期中平均値)	USD	135.5	144.6	9.2	6.7%	
	EUR	141.0	156.8	15.8	11.2%	

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

	2023/3期 実績	2024/3期 実績	前期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	14,328	14,008	△320	△2.2%
ライン品	5,911	5,731	△179	△3.0%
補給品	8,417	8,276	△140	△1.7%
産業用フィルタ	749	648	△100	△13.5%
プロセス用フィルタ	867	725	△142	△16.4%
建機用フィルタ 合計	15,945	15,382	△563	△3.5%
エアフィルタ	2,659	2,642	△17	△0.7%
売上高合計	18,605	18,024	△580	△3.1%

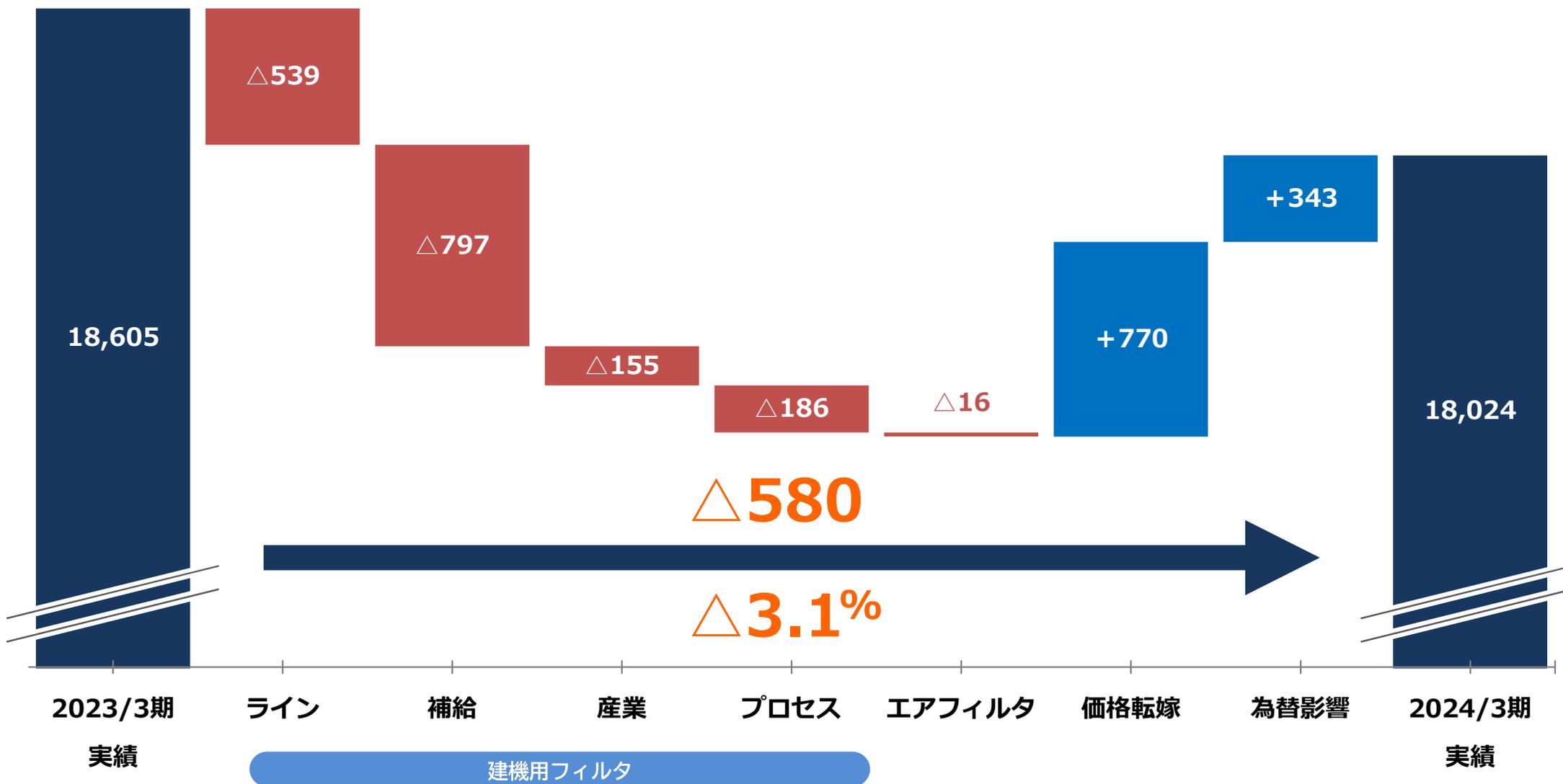
	2023/3期 実績		2024/3期 実績		前期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	15,945	85.7%	15,382	85.3%	△563	△3.5%
国内	7,980	42.9%	6,990	38.8%	△990	△12.4%
北米	3,150	16.9%	3,249	18.0%	99	3.1%
中国	1,380	7.4%	1,218	6.8%	△162	△11.7%
アジア	1,698	9.1%	2,051	11.4%	353	20.8%
欧州	1,729	9.3%	1,869	10.4%	140	8.1%
その他（中東他）	6	0.0%	3	0.0%	△2	△43.7%
エアフィルタ（国内）	2,659	14.3%	2,642	14.7%	△17	△0.7%
売上高合計	18,605	100.0%	18,024	100.0%	△580	△3.1%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

売上高の増減要因 (2023/4-2024/3)

(単位：百万円)



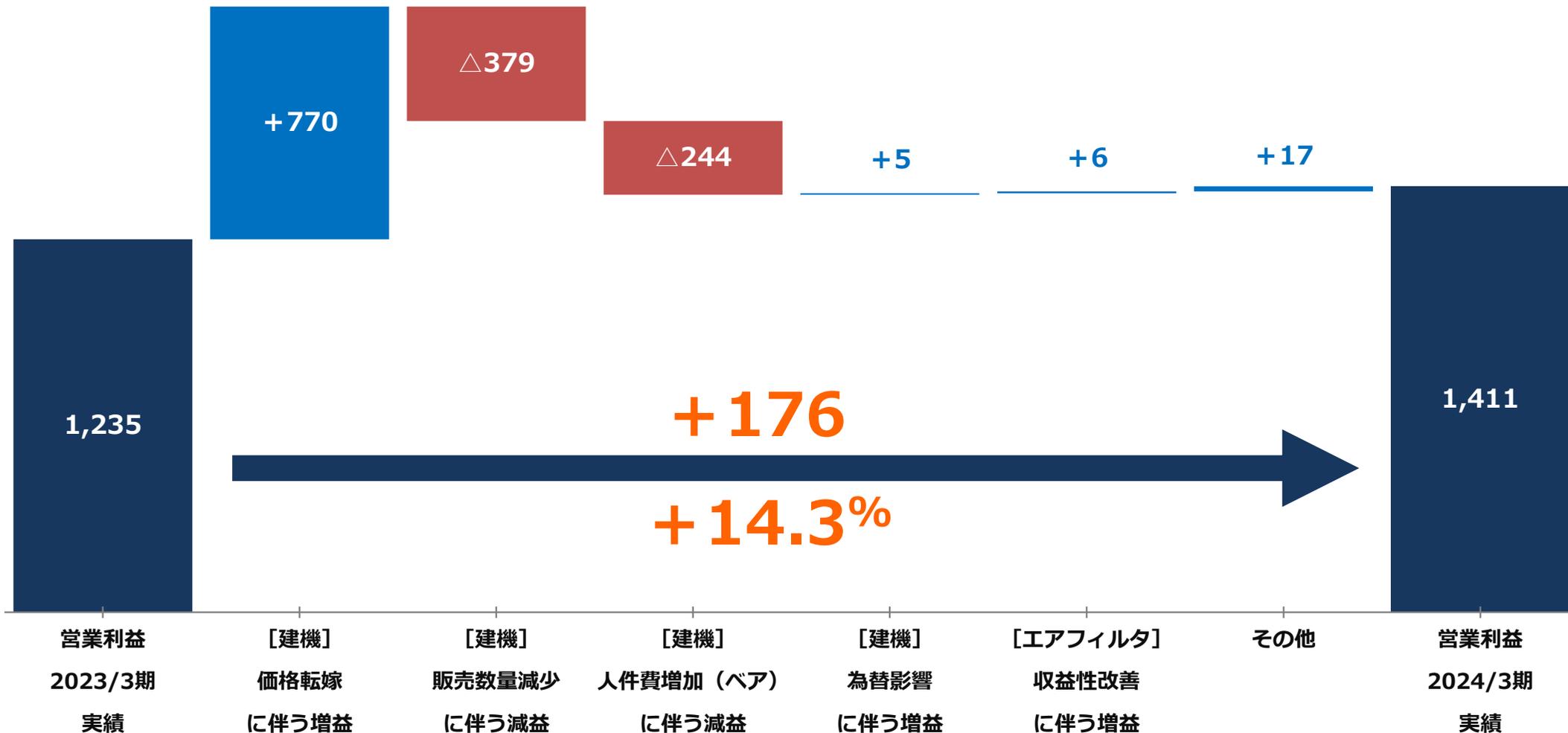
* 「産業」には、ヘルスケア製品群を含めております。

営業利益の増減要因 (2023/4-2024/3)

(単位：百万円)

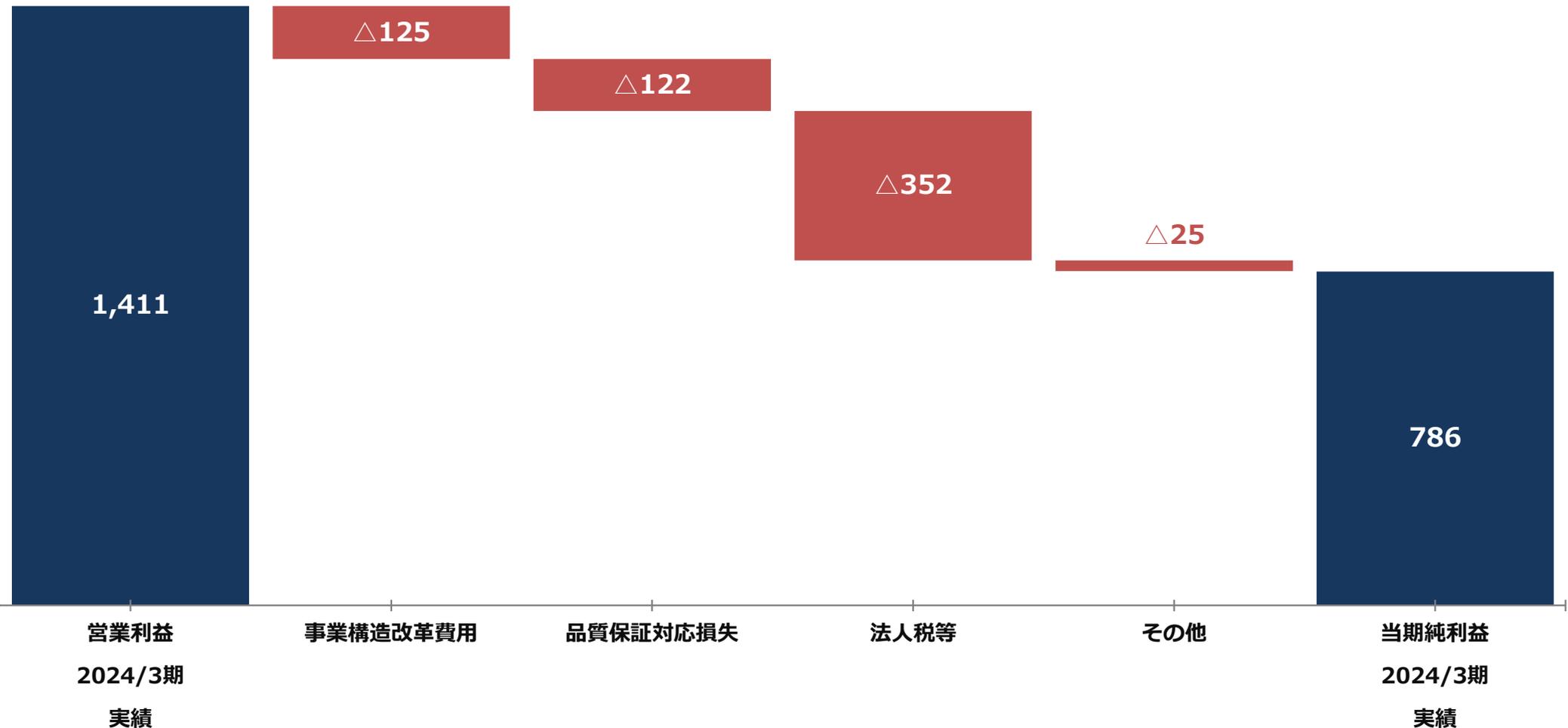
営業利益率
6.6%

営業利益率
7.8%



- 北米子会社の事業構造改革にかかる費用125百万円、当社供給製品に起因する不具合対応費用122百万円を一過性の費用として特別損失に計上

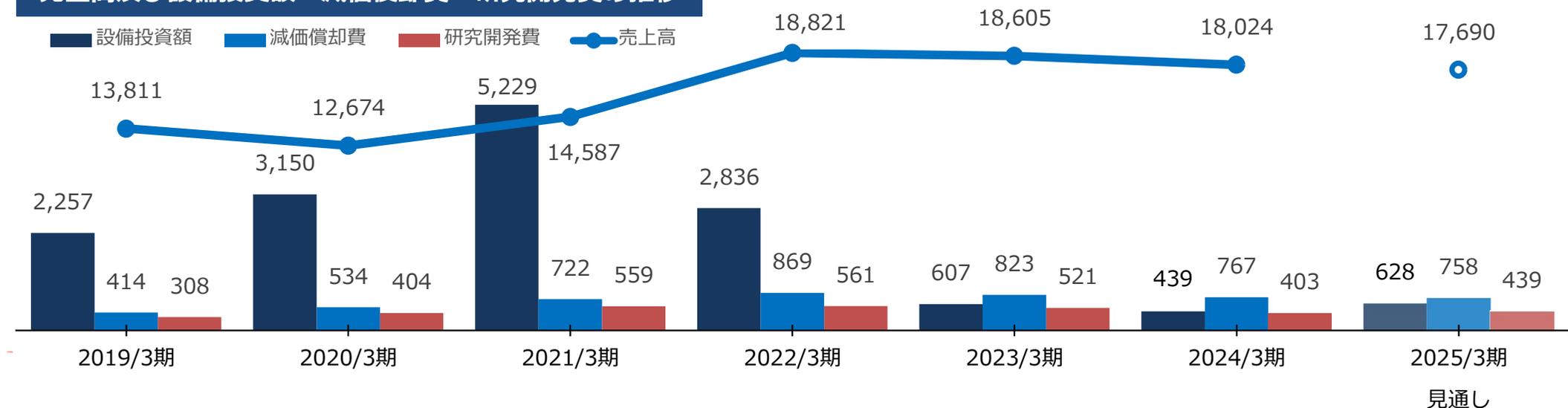
(単位：百万円)



設備投資額、減価償却費及び研究開発費推移

単位 百万円	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 見通し
売上高	13,811	12,674	14,587	18,821	18,605	18,024	17,690
設備投資額	2,257	3,150	5,229	2,836	607	439	628
土地・建物	1,587	2,682	3,193	1,488	34	19	30
その他設備投資	669	467	2,036	1,347	573	419	598
売上高比率	16.3%	24.9%	35.9%	15.1%	3.3%	2.4%	3.6%
減価償却費	414	534	722	869	823	767	758
売上高比率	3.0%	4.2%	5.0%	4.6%	4.4%	4.3%	4.3%
研究開発費	308	404	559	561	521	403	439
売上高比率	2.2%	3.2%	3.8%	3.0%	2.8%	2.2%	2.5%

売上高及び設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



～2024年3月期

2025年3月期

- 生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

PAC23



Promptly
迅速



Activated
かつ効果的な



Cost reduction
コスト削減計画

20

23

■ 削減目標・実績金額

単位：百万円

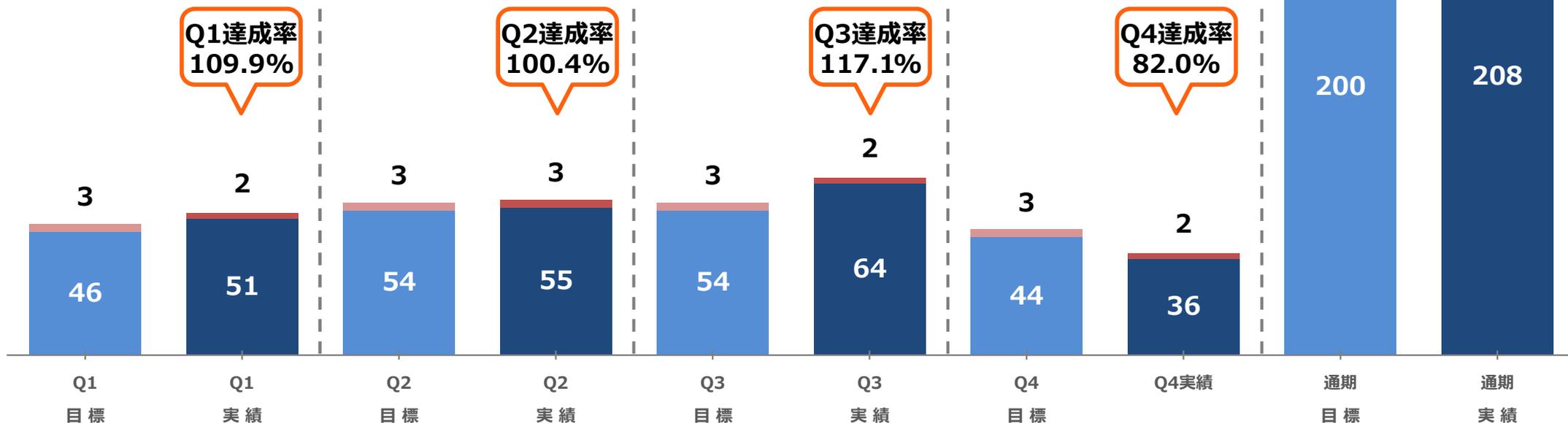
		Q1 目 標	Q1 実 績	Q2 目 標	Q2 実 績	Q3 目 標	Q3 実 績	Q4 目 標	Q4 実 績	通 期 目 標	通期 実 績
PAC23	製造原価	46	51	54	55	54	64	44	36	200	208
	販管費	3	2	3	2	3	2	3	2	12	10
合 計		49	53	57	57	57	66	47	38	212	218

通期進捗率
102.9%

■ 進捗状況

(単位：百万円)

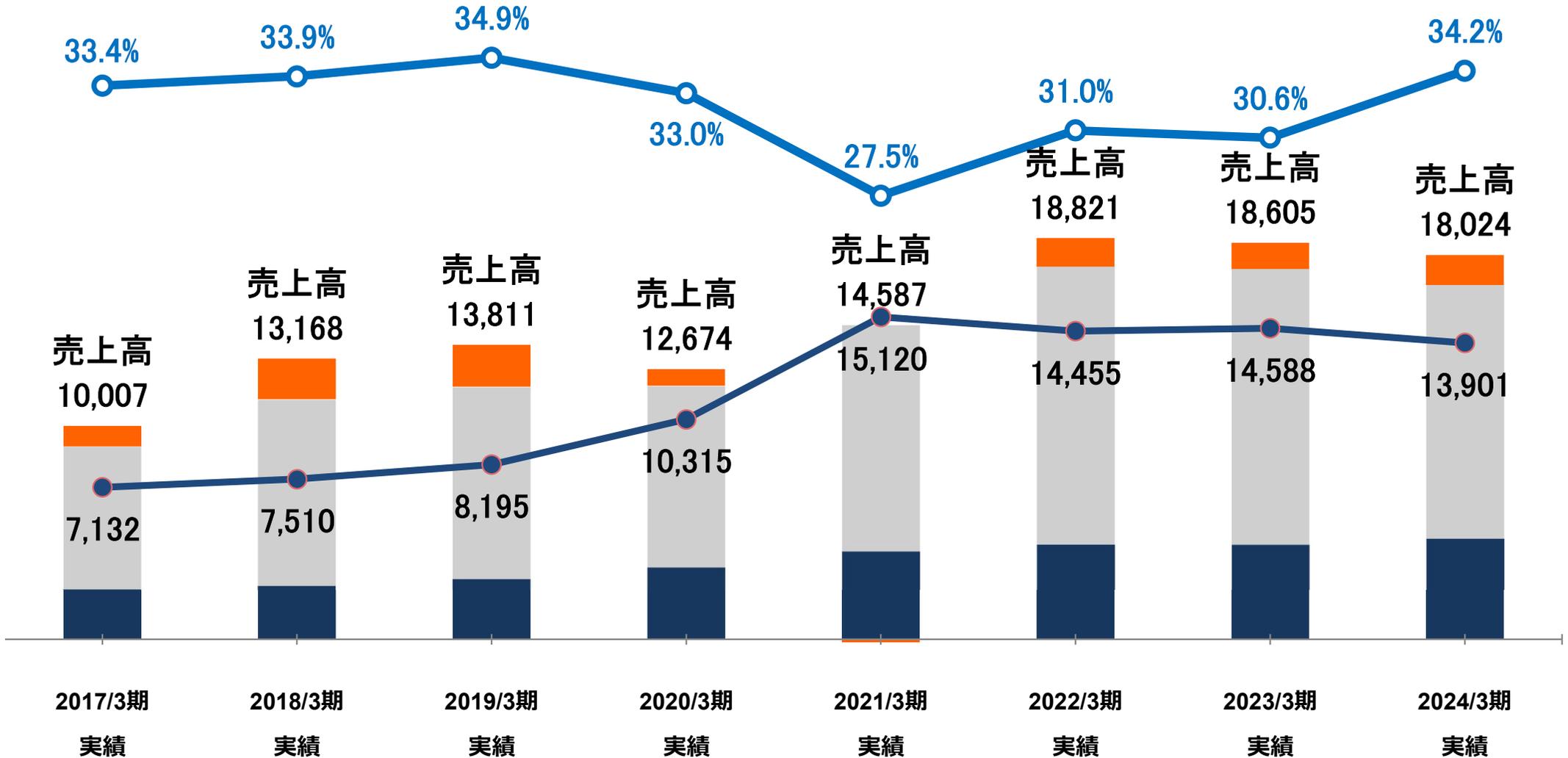
■ 製造原価 ■ 販管費



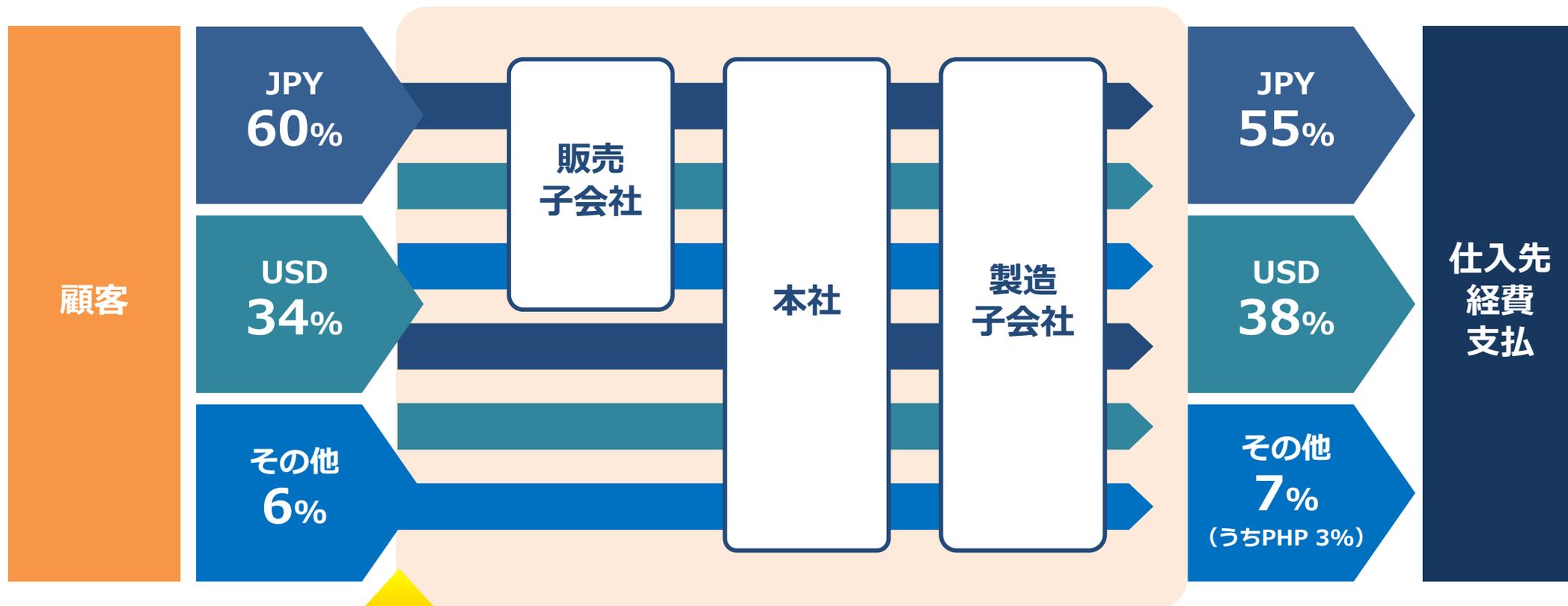
● 限界利益率はコロナ前の水準まで改善

(単位：百万円)

■ 固定費 ■ 変動費 ■ 営業利益 ● 分岐点売上高 ○ 限界利益率



- 円安進行により約5百万円の営業利益へのプラス影響



取引通貨の6割はJPY

- 為替が1円円安になった場合の営業利益影響額は軽微
- 為替マリー強化を図る

- 『MAVY's』は当社の企業価値の持続的成長を判断する最重要経営指標
- 『MAVY'sスプレッド』の目標を設定し、資本コスト(WACC)の最適化と収益力(ROIC)の最大化を図ることにより長期的持続的成長に努める

MAVY'Sとは (ROIC - WACC)

Maximizing
Added
Value of
Yamashin Filter
Spread

投下資本の利潤最大化を目指し、
各責任部署が (KPI) を設定し
業務に取り組む (KSF) ための
最重要指標 (KGI)

MAVY's
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を
割り振り、各KPIを設定して
目標達成に向けた業務運営を
全社にて行う

- ROIC改善 (収益力) によりMAVY'Sスプレッドは着実に改善、中期的な成長戦略の開示によりPBR向上を図る

Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (CFS)	責任部署	25.3期部門目標 (action plan)	
<p>※KPI算定の前提</p> <p>Prv : 2024/3期 通期実績</p> <p>Cur : 2025/3期 見通し</p>					
<p>MAVY's</p> <p>Prv: -2.6%</p> <p>Cur: -3.0%</p>	<p>売上高営業利益率</p> <p>Prv: 7.8%</p> <p>Cur: 8.0%</p>	<p>売上高伸長率</p> <p>Prv: -3.1%</p> <p>Cur: -1.9%</p>	<p>新製品開発 純正率向上</p>	<p>営業・開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 価格転嫁推進 建機: 主要顧客シェア拡大(ロングライフ、センサ) 建機: 中国企業へのシェア拡大 エアフィルタ: 新製品 (NanoWhelp) による販売拡大 (直販、国内外) 新規事業領域への進出 	
		<p>売上総利益率</p> <p>Prv: 41.9%</p> <p>Cur: 44.3%</p>	<p>売上原価率</p> <p>Prv: 58.1%</p> <p>Cur: 55.7%</p>	<p>購買力強化 歩留り改善</p>	<p>生産</p> <ul style="list-style-type: none"> 連結原価の最適化 (PAC24、生産地移管) 購買力強化、物流コスト低減 生産管理の改善
		<p>販管費率</p> <p>Prv: 34.1%</p> <p>Cur: 36.3%</p>	<p>減価償却費率</p> <p>Prv: 4.3%</p> <p>Cur: 4.3%</p>	<p>投資計画</p>	<p>経営企画 財務・経理</p> <ul style="list-style-type: none"> M&A(対象企業選定、シナジー検証) →不織布事業体買収(下流) →新素材開発企業買収(上流) 研究開発費、設備投資案件の効果検証
			<p>研究開発費率</p> <p>Prv: 2.2%</p> <p>Cur: 2.5%</p>	<p>テーマの絞り込み 優先順位</p>	<p>開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 新素材の開発 (リサイクル、バイオマス等) IT、DX、AIの活用 超低圧力損失、エアレーション他技術開発 開発段階からの原価低減、VE、VAの推進
			<p>人件費率</p> <p>Prv: 16.9%</p> <p>Cur: 18.2%</p>	<p>最適な人員構成</p>	<p>人事・総務</p> <ul style="list-style-type: none"> 人的資本経営の推進、タレントマネジメント制度策定・運用
			<p>売上債権回転率</p> <p>Prv: 3.9</p> <p>Cur: 3.7</p>	<p>債権管理</p>	<p>営業 財務・経理</p> <ul style="list-style-type: none"> 債権回収率の改善 (回収管理とモニタリング)
		<p>運転資本回転率</p> <p>Prv: 2.6</p> <p>Cur: 2.8</p>	<p>棚卸資産回転率</p> <p>Prv: 4.8</p> <p>Cur: 5.7</p>	<p>適正在庫の設定</p>	<p>生産 営業</p> <ul style="list-style-type: none"> 全社棚卸資産の圧縮
		<p>投下資本回転率</p> <p>Prv: 0.8</p> <p>Cur: 0.8</p>	<p>仕入債務回転率</p> <p>Prv: 6.8</p> <p>Cur: 6.0</p>	<p>債務管理</p>	<p>生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ワーキングキャピタル改善 (支払サイト最適化)
			<p>有形固定資産回転率</p> <p>Prv: 1.6</p> <p>Cur: 1.6</p>	<p>設備計画 (R&D・生産)</p>	<p>経営企画 総務・生産・開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資回収効果最適化
		<p>固定資産回転率</p> <p>Prv: 1.4</p> <p>Cur: 1.4</p>	<p>無形固定資産回転率</p> <p>Prv: 94.2</p> <p>Cur: 84.3</p>	<p>投資計画</p>	<p>経営企画 財務・経理</p> <ul style="list-style-type: none"> 知財戦略の策定とアクションプランの作成
	<p>ROIC</p> <p>Prv: 4.9%</p> <p>Cur: 4.5%</p>				
	<p>WACC</p> <p>Prv: 7.5%</p> <p>Cur: 7.5%</p>				
	<p>ROE</p> <p>Prv: 3.7%</p> <p>Cur: 4.5%</p>				
	<p>PBR</p> <p>Prv: 1.58</p> <p>Cur: 1.57</p>				

2025年3月期 通期業績見通し

建機用フィルタ事業

- 北米及び日本市場は引続き堅調に推移、欧州、アジア市場の各市場における建設機械市場の需要は前年を若干下回る水準で推移
- アルミや鋼材を中心とした主要原材料価格は当面の間高止まり、人的資本への投資の一環として給与水準の引き上げ実施による固定費増加
- 更なる価格転嫁の実行、設計開発段階での原価低減、原材料コストの削減、製造プロセスの改善、品質管理の更なる強化を進めることによりコスト削減を図る

エアフィルタ事業

- 既存製品の交換需要の回復及び、ナノファイバー製エアフィルタをはじめとした高付加価値製品の展開により、オフィスビルや商業施設、工場等への採用に向けた取り組み進展
- 価格転嫁継続に加え、生産効率の改善を軸とした原価低減活動による収益性改善を見込む

		2023/3期	2024/3期	2025/3期	前期比 (百万円)
		実績 (百万円)	実績 (百万円)	見通し (百万円)	
売上高		18,605	18,024	17,690	△334
	建機用フィルタ※	15,945	15,382	14,890	△492
	エアフィルタ	2,659	2,642	2,800	157
営業利益		1,235	1,411	1,410	△1
	建機用フィルタ※	1,150	1,320	1,290	△30
	エアフィルタ	84	91	120	28
営業利益率		6.6%	7.8%	8.0%	0.1Pt
経常利益		915	1,415	1,420	4
経常利益率		4.9%	7.9%	8.0%	0.2Pt
当期純利益		645	786	980	193
当期純利益率		3.5%	4.4%	5.5%	1.2Pt
為替レート (円)	USD	135.5	144.6	145.0	0.3%
	EUR	141.0	156.8	155.0	△1.2%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

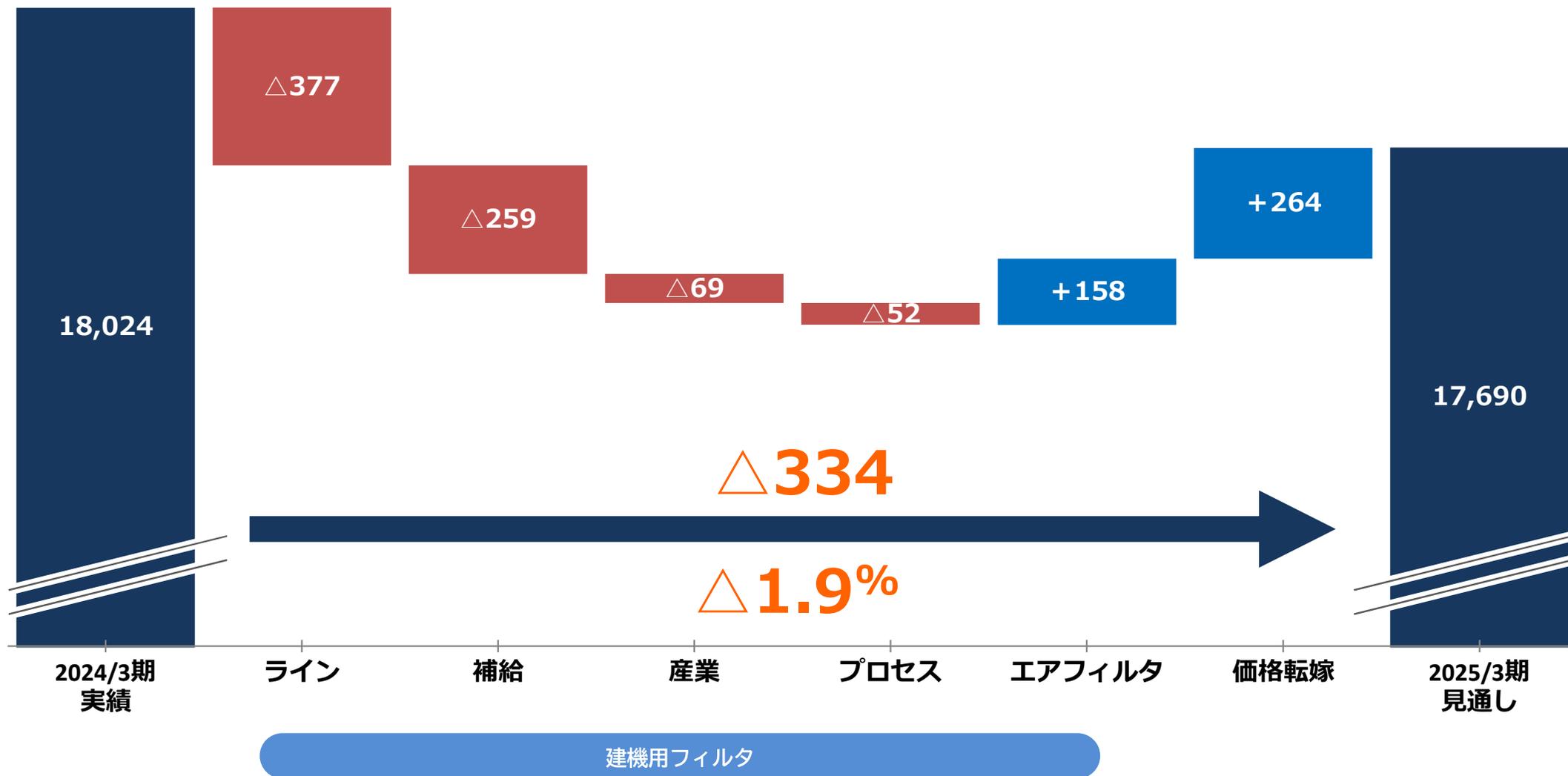
	2023/3期 実績		2024/3期 実績		2025/3期 見通し		前期比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ	14,328	77.0%	14,008	77.7%	13,586	76.8%	△422	△3.0%
ライン品	5,911	31.8%	5,731	31.8%	5,434	30.7%	△297	△5.2%
補給品	8,417	45.2%	8,276	45.9%	8,152	46.1%	△124	△1.5%
産業用フィルタ	749	4.0%	648	3.6%	620	3.5%	△27	△4.3%
プロセス用フィルタ	867	4.7%	725	4.0%	683	3.9%	△42	△5.8%
建機用フィルタ 合計	15,945	85.7%	15,382	85.3%	14,890	84.2%	△492	△3.2%
エアフィルタ	2,659	14.3%	2,642	14.7%	2,800	15.8%	157	6.0%
売上高合計	18,605	100.0%	18,024	100.0%	17,690	100.0%	△334	△1.9%

	2023/3期 実績		2024/3期 実績		2025/3期 見通し		前期比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ*	15,945	85.7%	15,382	85.3%	14,890	84.2%	△492	△3.2%
国内	7,980	42.9%	6,990	38.8%	6,671	37.7%	△318	△4.6%
北米	3,150	16.9%	3,249	18.0%	3,457	19.5%	207	6.4%
中国	1,380	7.4%	1,218	6.8%	1,096	6.2%	△121	△10.0%
アジア	1,698	9.1%	2,051	11.4%	1,864	10.5%	△187	△9.1%
欧州	1,729	9.3%	1,869	10.4%	1,790	10.1%	△78	△4.2%
その他 (中東他)	6	0.0%	3	0.0%	10	0.1%	6	172.9%
エアフィルタ (国内)	2,659	14.3%	2,642	14.7%	2,800	15.8%	157	6.0%
売上高合計	18,605	100.0%	18,024	100.0%	17,690	100.0%	△334	△1.9%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

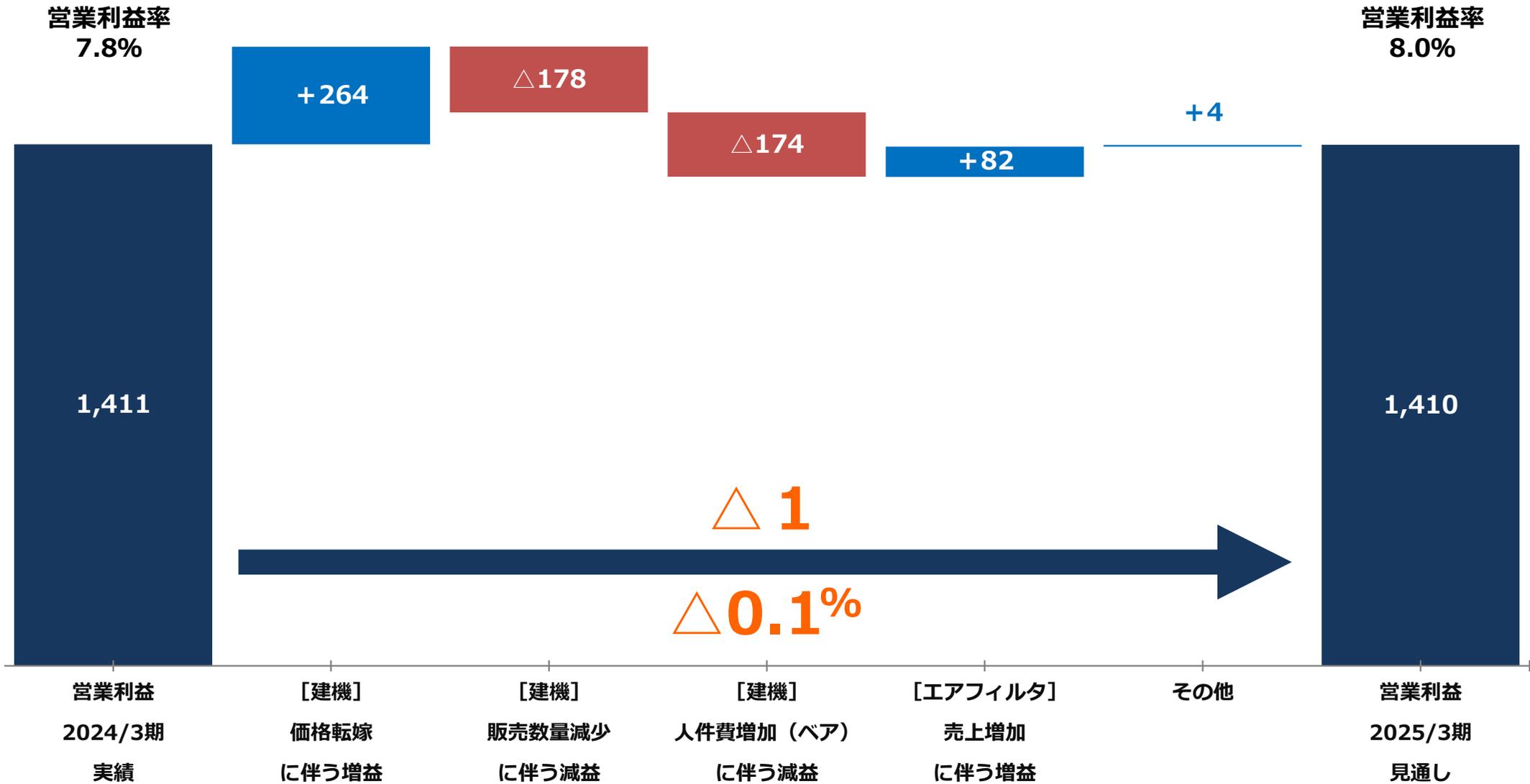
* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

(単位：百万円)



* 「産業」には、ヘルスケア製品群を含めております。

(単位：百万円)



2025年3月期は中間配当5.0円、期末配当5.0円の年間10.0円に増配予定

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期 見通し
1株当たり 年間配当金	6.0円	6.0円	6.0円	10.0円
連結配当性向^{※1}	909.8%	66.5%	54.5%	72.0%
配当利回り^{※2}	1.7%	1.8%	1.3%	2.0%
DOE^{※3}	2.1%	2.1%	2.0%	3.3%
総還元性向^{※4}	960.4%	75.6%	121.0%	78.0%

※1 連結配当性向 = (配当金総額 ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益) × 100

※2 配当利回り = (1株あたり配当金 ÷ 期末日現在の株価) × 100

※3 DOE (株主資本配当率) = (年間配当総額 ÷ 株主資本) × 100

※4 総還元性向 = {(配当金総額 + 株主優待 + 自己株式取得) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益} × 100

思

Ⅱ 市場を取り巻く環境

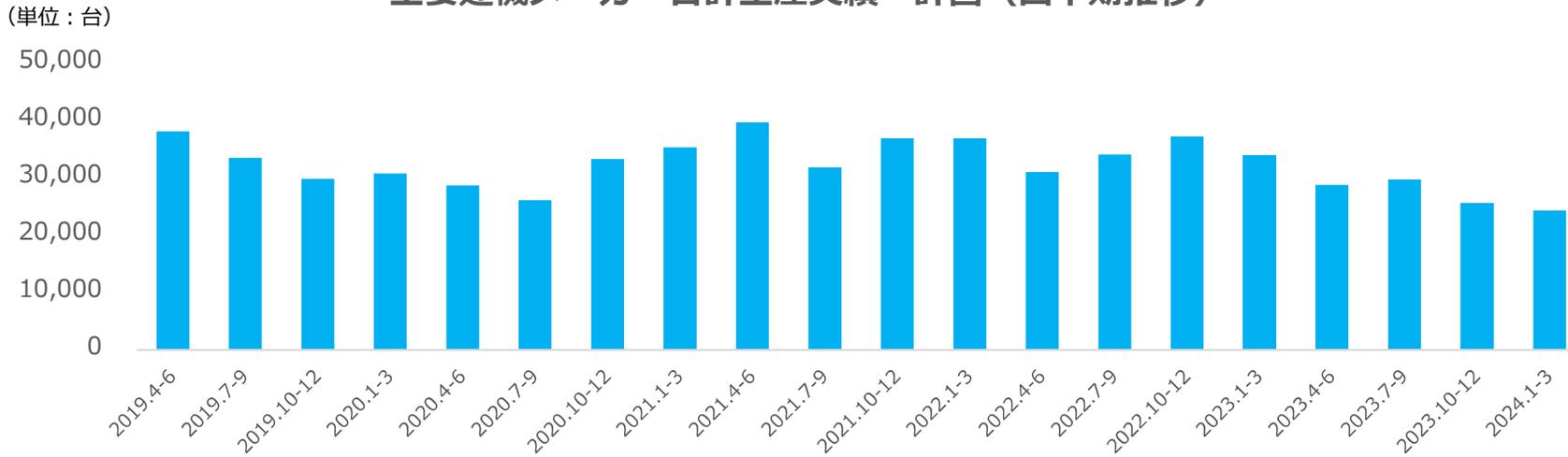
“建機市場を取り巻く環境”

- 地政学リスクを背景に、市場環境は先行き不透明な状況が継続
- 北米では新車需要は堅調維持するも、その他の地域は減少傾向
- 稼働時間は足元で減少傾向だが、今後の部品需要は安定推移の見込み

	2024/3 Q3	2024/3 Q4	今後の見通し
日本	原材料価格は高止まり 建機の需要は堅調に推移	原材料価格は高止まり 建機の需要は堅調に推移	原材料価格は高止まり 需要は概ね堅調に推移する見通し
北米	主要原材料価格の高騰 円安は継続 建機稼働時間と新車需要は堅調	主要原材料価格は高止まり 円安は継続 建機稼働時間と新車需要は堅調に推移	原材料価格は高止まり 新車需要は緩やかに減少傾向 建機稼働時間は堅調に推移
欧州	金利上昇や エネルギー価格高騰影響により 軟調に推移	金利の高止まりやエネルギー価格の 高騰により需要は軟調に推移	金利の高止まりやエネルギー価格の 高騰による景気減速が予想され 需要は減少見通し
アジア	景気減速が予想され、経済の先行き 不透明感があるものの 需要は堅調に推移	景気減速が予想され、経済の先行き 不透明感や選挙等による公共事業予算執行 の遅れにより需要は低迷	景気減速傾向、 経済の先行き不透明感あり 需要は減少見通し
中国	不動産市況の低迷等に起因した経済活動 の停滞により新車需要は低迷	不動産市況の低迷等に起因した経済活動 の停滞により需要は大幅に減少	不動産市況低迷、経済活動の停滞が継続 需要は前年を下回る見通し

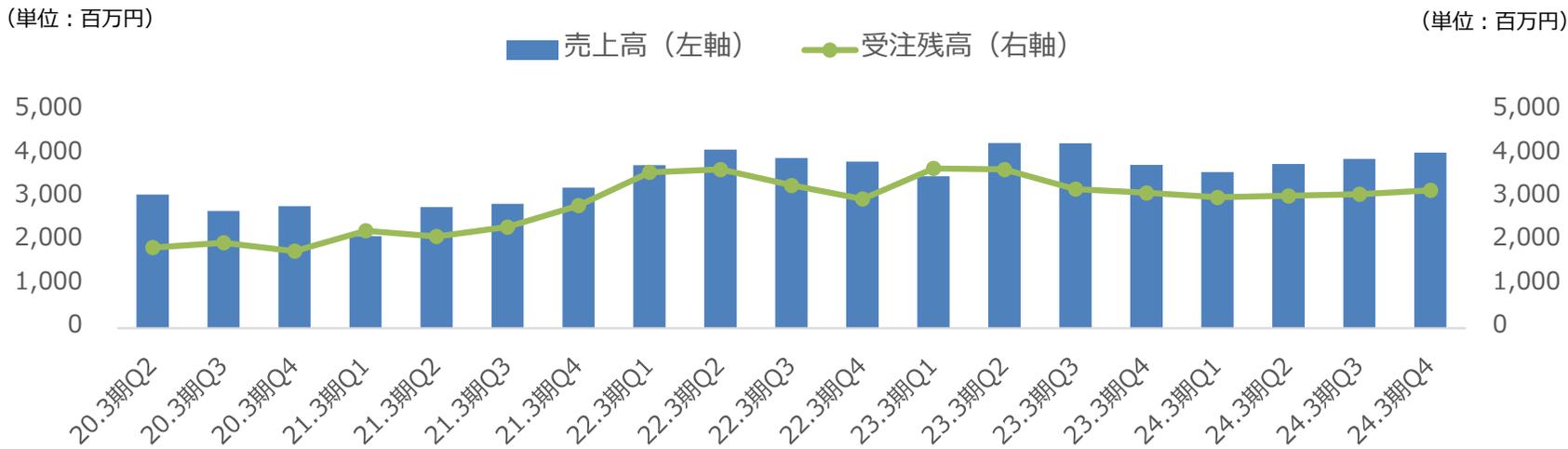
- 生産計画台数は減少傾向が継続するも、底打ち感あり
- 新車買い控えの影響から、メンテナンス需要は堅調な需要環境を維持
- 価格調整の効果もあり、受注残高は同水準で推移する見通し

主要建機メーカー合計生産実績・計画（四半期推移） ※主要6社10%以上



**新車需要は
物量ベースでは
緩やかに減少**

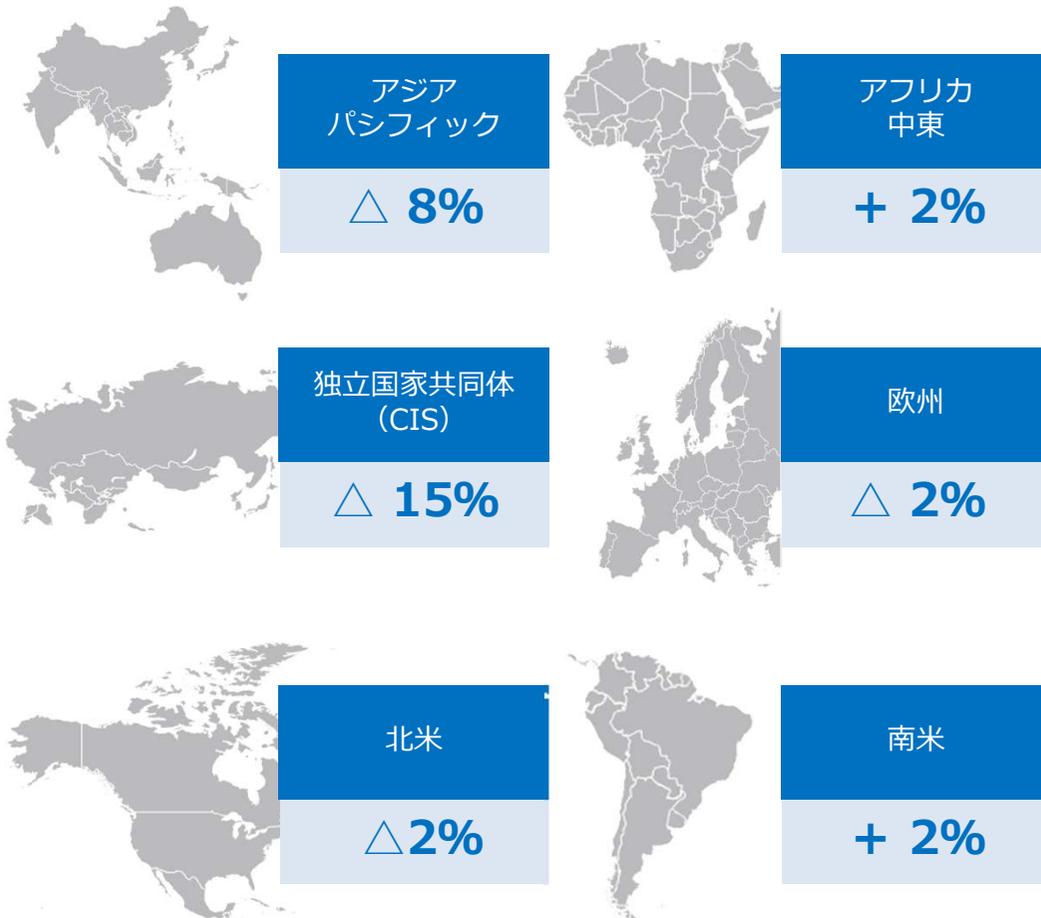
当社の建機用フィルタ売上高と確定受注残高内示受注残高（四半期推移）



**補給部品の
需要が底堅いため
受注は同水準維持**

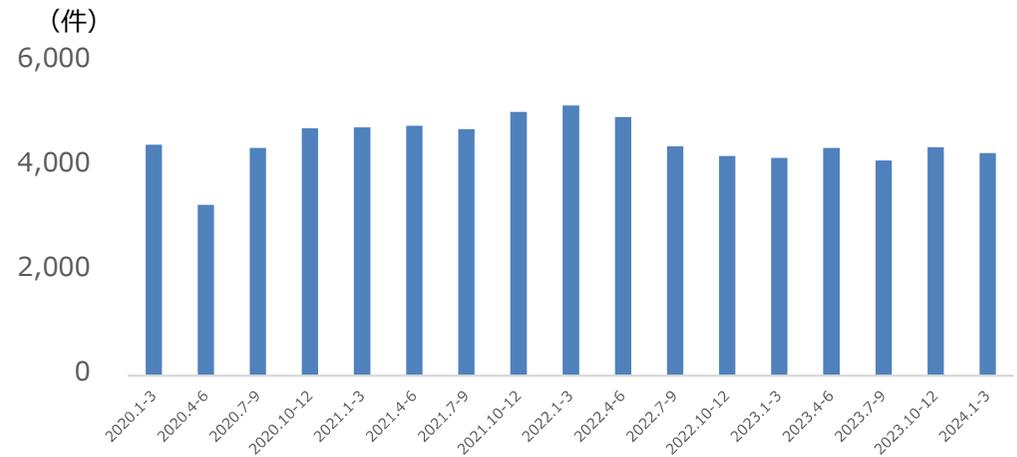
- 需要動向は地域で濃淡に差が出るも、最大市場の北米では根強い需要が底支える
- 北米の住宅着工件数は横這いの状況だが、公共投資の活性化は好材料
- 正と負の要素が同一市場で混在しているため、今後の需要環境見通しは不透明

地域別 建機需要の動向（指数）



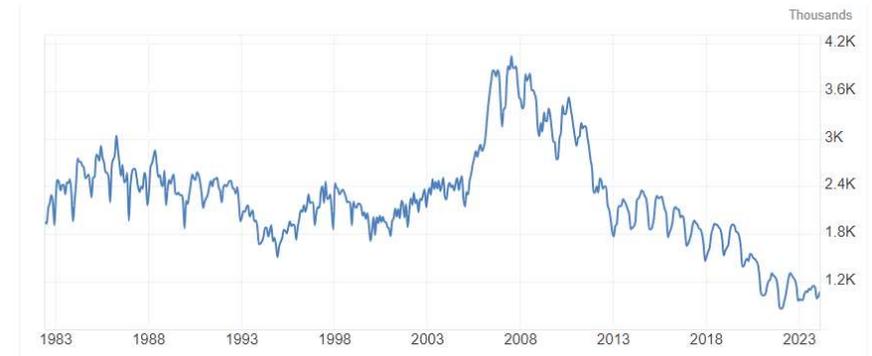
デマンド動向指数（23年対24年予想）

北米市場 住宅着工件数の推移



(Bureau of the Censusより当社作成)

北米市場 総住宅在庫の推移

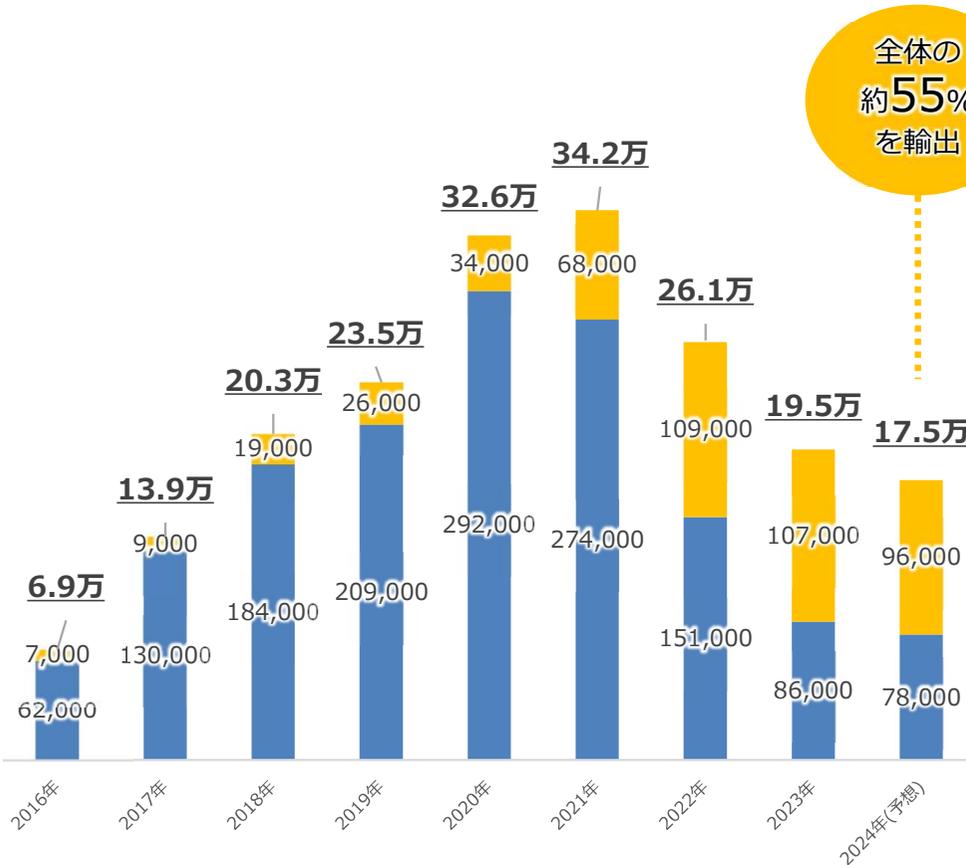


(TRADINGECONOMICSより引用)

- 市場の低迷は継続していて、24年も同程度の生産台数になる見通し
- 輸出割合は約55%と高水準だが、政府の輸出入政策により今後は不透明

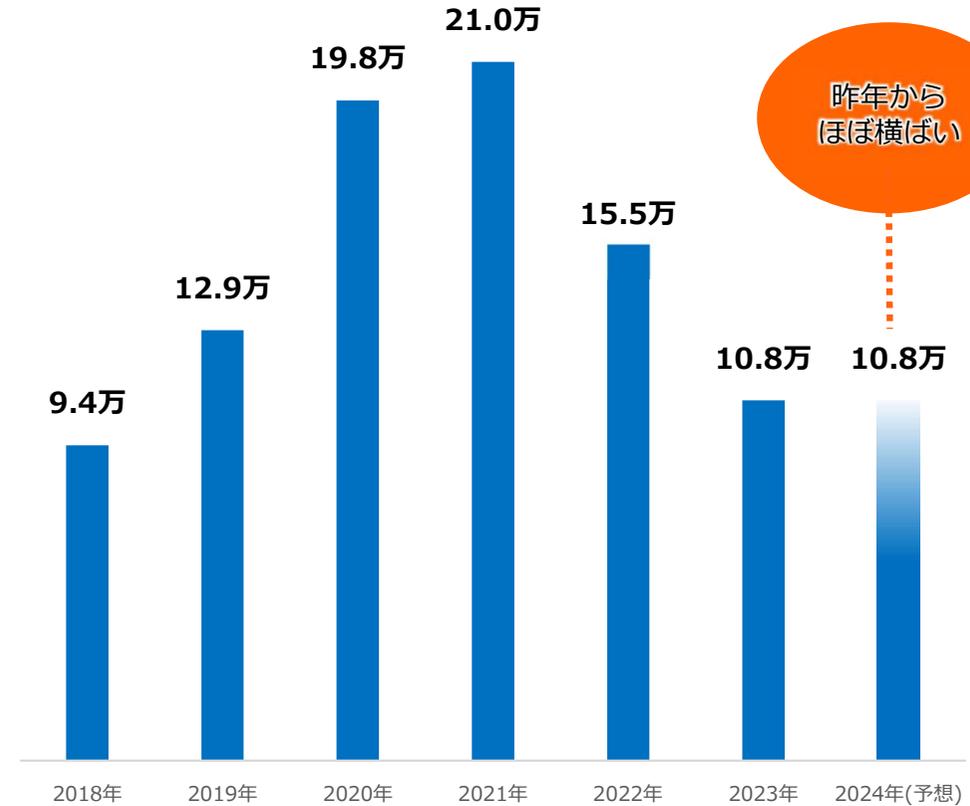
中国年間販売台数推移

(台) ■ 中国国内販売 ■ 海外輸出 ■ 合計



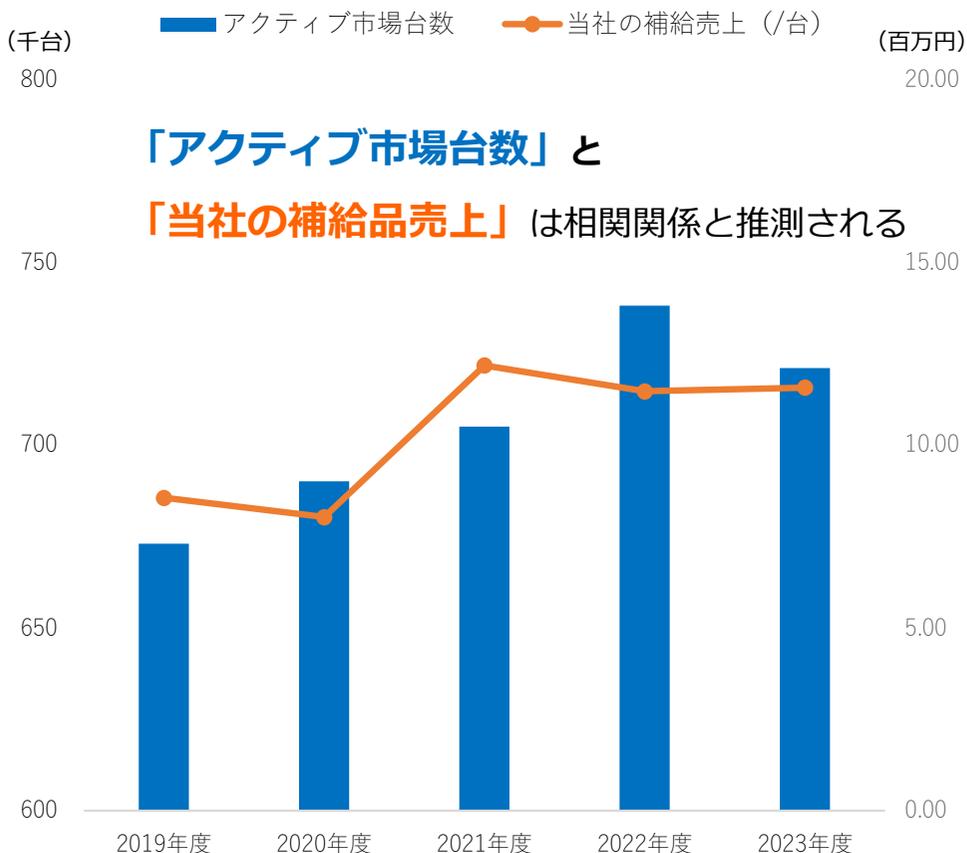
主要中国建機メーカー5社生産台数（計画）

(台)



- 市場にある機械の若返り化が進んだため、メンテナンス需要は高まっていると予想
- 加えて価格転嫁の効果により、1台当たりの売上高は高水準にある

アクティブな市場台数の推移と補給品売上の感応度



「アクティブ市場台数」と
「当社の補給品売上」は相関関係と推測される

*注釈：アクティブ市場台数=3年累計の世界販売台数（当社推計）

成功要因と今後の方針

アジアを中心とした
メンテナンス強化
(補給部品)の背景

- アジア市場は先進国市場に比べて代理店の販売網が未成熟、そのため**模倣品メーカーの介入リスクが相対的に高い**
- 若い機械は正しいメンテナンスを行うことで**リセールバリューが担保される**ため、各社特に正規品の使用を推奨



補給部品を
取り込む施策の
推進

- フィルタを機能部品として**認知・理解を促進する機会の提供**と、**地域需要にクイック対応できる現地間取引の推進**
- リセールバリューを担保するだけでなく、**価値自体を上げるための将来技術の提案**

- 安定した需要が見込めるアフターマーケットは、顧客にとっても重要な市場
- 稼ぐプラットフォームとして機能させるためには、ユーザー育成が必須
- 当社独自の販促活動は、建機メーカー各社において高い評価を獲得

コベルコ社

「Best Performance for Delivery Control 賞」



受賞理由

サプライヤ72社の内、99%以上の非常に高い納期遵守率が評価。
ガバナンス強化されたグローバルでの生産・供給ネットワークによる着実な取引の成果として受賞。

コマツ社

「Best Collaborative Partner 賞」



受賞理由

当社供給の純正補給部品の販売促進への取り組みと貢献が評価。
サービスマンや代理店、ユーザーに向けたフィルタ知識や純正品の必要性とメリットを伝える啓発活動推進の成果として受賞。

日立建機社

「Appreciation Award 賞」



受賞理由

当社が供給する純正補給部品の販売促進、商流変更による業務効率化への貢献が評価。
フィルタ専門メーカーならではの純正品の啓発活動推進、グローバルネットワークをフレキシブルに活用した提案力・適応力の成果として受賞。

- フィルタのロングライフ化が進展することで、模倣品の参入リスクは抑制できる
- 状態監視が可能になれば、メンテナンス保証のサービス拡充に大きく寄与できる

ロングライフ化による純正率確保

ライフサイクルコスト(LCC)が改善することで
イミテーションの参入機会を抑制

機体寿命12,000hrと仮定した場合の
ロングライフ化対応前後のフィルタ交換回数比較

現在の1,000hr仕様

フィルタ交換回数

11回



提案のロングライフ
3,000hr仕様

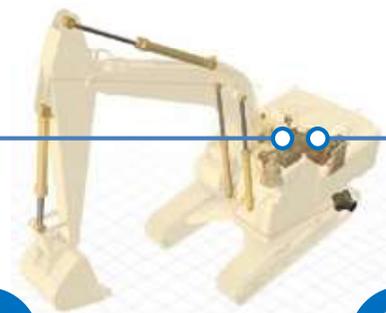
フィルタ交換回数

3回



センサーによるモニタリング

作動油・フィルタの状態を可視化することで
マシンダウン防止・ランニングコスト抑制
をサービスとして提供可能に



FILTER SAVER™



SWIFTROCK™



“エアフィルタ市場を取り巻く環境”

- ビル建物は購買活動に変化の予兆があるが、需要は堅調維持
- 一般工場は設備投資に活況の兆候もあり、今後のメンテナンス需要に期待
- 半導体の需要は踊り場状態で、来期以降の大型工場稼働まで好転しない見通し

	市場概要	市場環境	
		前期	今期見通し
ビル・建物	オフィス・商業ビル等に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	横這い傾向だがスポット案件の増加で不安定感が増している。	市場は横這いも中性能のスポット案件移行が顕著になり、競争が激化していく。
一般工場	工場に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	定期保守は維持される傾向で安定している。積極的な更新工事などは少し先になる見込み。	定期保守は安定的に推移。大規模修繕に予算が回るようになり工事案件が増える傾向。
半導体工場	ケミカルフィルタの交換市場	来期への動きは見られるが、今期内はやや停滞傾向。	引き続き停滞傾向。来期以降に国内新工場の稼働の影響で回復。
環境機器	一般家庭で使われる住宅空調・空気清浄機のエアフィルタ	横這い傾向も中長期的には減少傾向が鮮明化。	減少傾向が鮮明化。住宅メーカーは資材調達価格の抑え込みを図っている。
車両	鉄道等の空調用エアフィルタ 建機の粉塵用エアフィルタ	交換需要は堅調を維持。新規市場の動きは停滞傾向がみられる。	交換需要は堅調を維持。新規市場（リニア）の動きは停滞から少し動き出す兆候が見えだす。

- 既存商流は予算未達も、B2B商流は予算を若干上回る水準で着地
- 既存商流では、競争激化に伴うリピート物件の受注流出に課題
- B2B商流は直販先のターゲティングが順調に進捗して、他メーカーとの差別化に成功

既存領域

売上高達成率：98.7% 

既存商流の 環境変化

- ・首都圏地区の競争激化に伴う**受注悪化の影響**
- ・**交換サイクル延長化**の影響

取り組み

- ・各得意先毎に新規物件を増やす交渉を実施

課題

- ・リピート物件の取りこぼしを防ぐため、**物件管理のマイクロマネジメント体制構築**
- ・得意先のフォローにかけるリソース不足

BtoB（新領域）

売上高達成率：102.4% 

取り組みと 評価

- ・ターゲットを明確化したことで**営業効率が向上**
- ・直販メリット（コスト/スピード/相談提案）を積極的に訴求
- ・積極的な**訪問活動と製品性能が差別化要素**として顧客から高い評価を獲得

課題

- ・売上拡大するため、**新たな市場への進出**
- ・採用された業界実績の拡充

- リピート受注の前提となる年間契約から、スポット契約に移行するケース多数
- 購買活動の変化によって、フィルタの交換サイクルも不定期化して受注確度に影響
- より広域な受注活動を展開するために、営業活動の「量と質」を可視化する取り組みをスタート

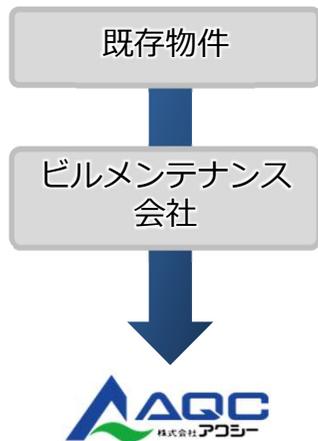
競争環境の複雑化

従来：年間契約

現在：スポット契約

変化が求めれておらず
競争が起きにくい

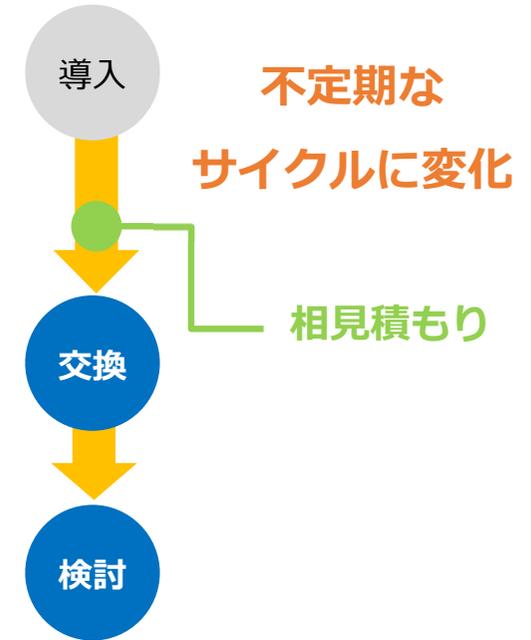
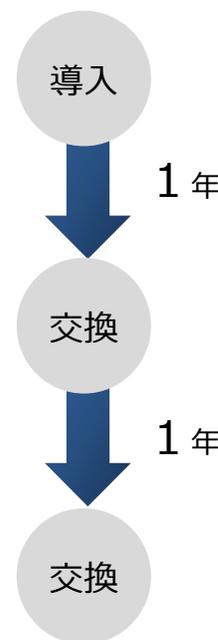
物件側から要求により
対等な競争に変化



交換サイクルの変化

これまでの交換サイクル

変化する交換サイクル

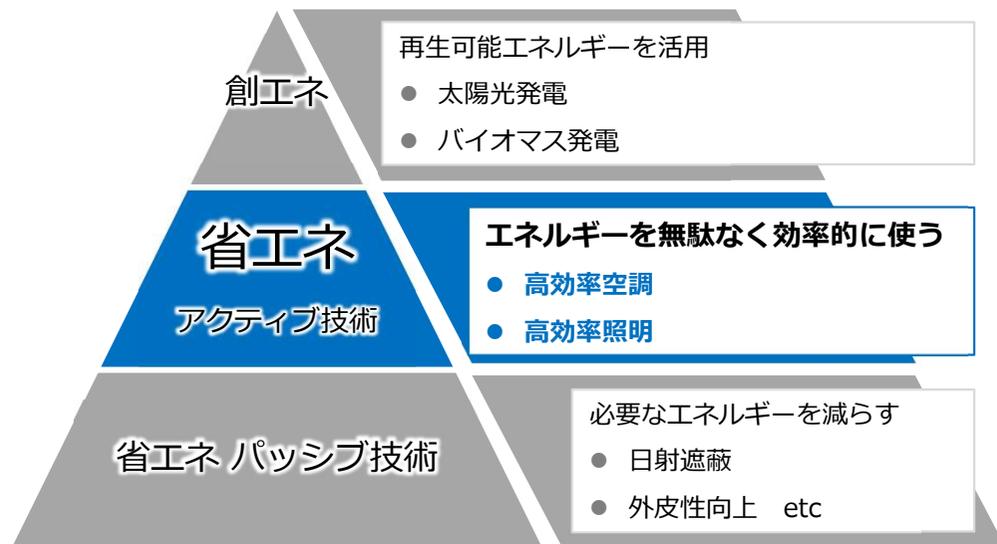


- エネルギーを創る創エネや、効率運用を図る省エネ機能を持つ建築物を環境省が推進
- 生産人口の減少は着実に進んでいて、労働力不足が顕在化している状況
- 主力製品であるNanoWHELP®により新たな市場を開拓を図る

環境型ビルディング（ZEB認証）

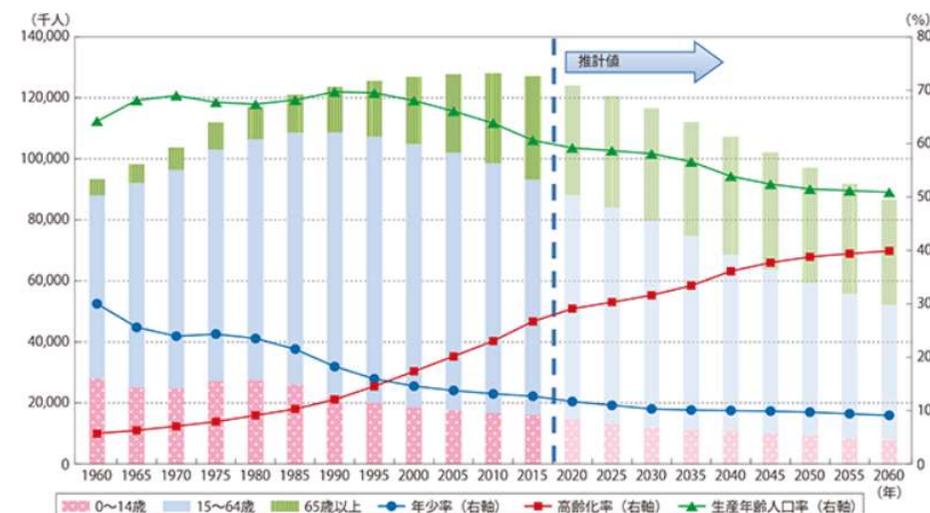
環境型ビルディング（ZEB認証）とは？

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと



生産年齢人口の減少による慢性的な労働力不足

図表1-1-1 我が国の人口構造の変化



（出典）経済産業省「ダイバーシティ2.0 一歩先の競争戦略へ 平成29年6月」より

生産年齢人口は最盛期の8700万人（1995年）から7500万人と13%以上減少、労働力不足は慢性化する

交換頻度の長周期化など
労働工数減少による
対応が迫られている

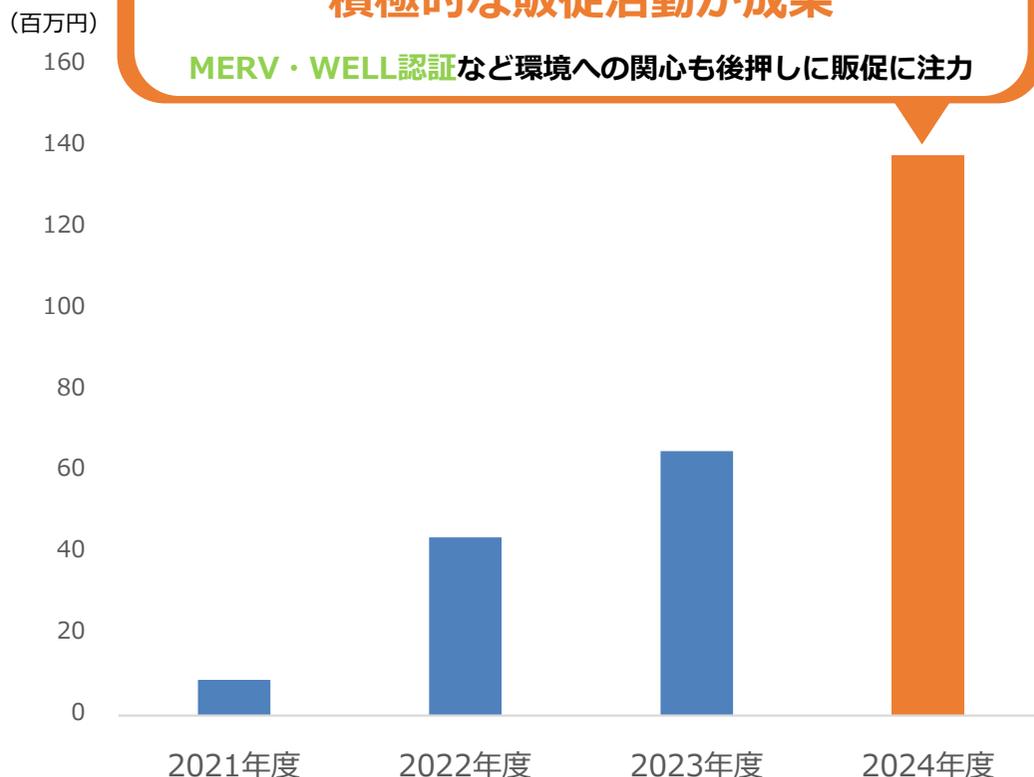
- NanoWHELP®の高性能を訴求力にして、順調に売上は拡大中
- 多種多様な建築物での採用実績を積むことで、業界横断的に販路を開拓する

NanoWHELP 販売数量・販売実績の推移

既存店で進むブランディングに加え、

**新規BtoB領域における
積極的な販促活動が成果**

MERV・WELL認証など環境への関心も後押しに販促に注力



導入状況

一般空調から**環境貢献の分野へ**

データセンター、病院、オフィスなど

各分野で大規模な物件へ展開

技術開発センター



自動車産業の技術開発センター。自動車の生産拠点だけではなく、研究開発など技術の集積地と位置付けられる中核施設。同時に、新製品発表の際のショールームやプレゼンテーションを実施する施設としての顔を持つ。

大型オフィスビル



JR新宿駅からほど近い大型オフィスビル。建物内に利用されている空調設備の約90%をグレードアップさせる顧客要望に応えたことで採用が決定。今後数年をかけ、全てのフロアに順次導入を実施予定。

未来

Ⅲ 今後の戦略



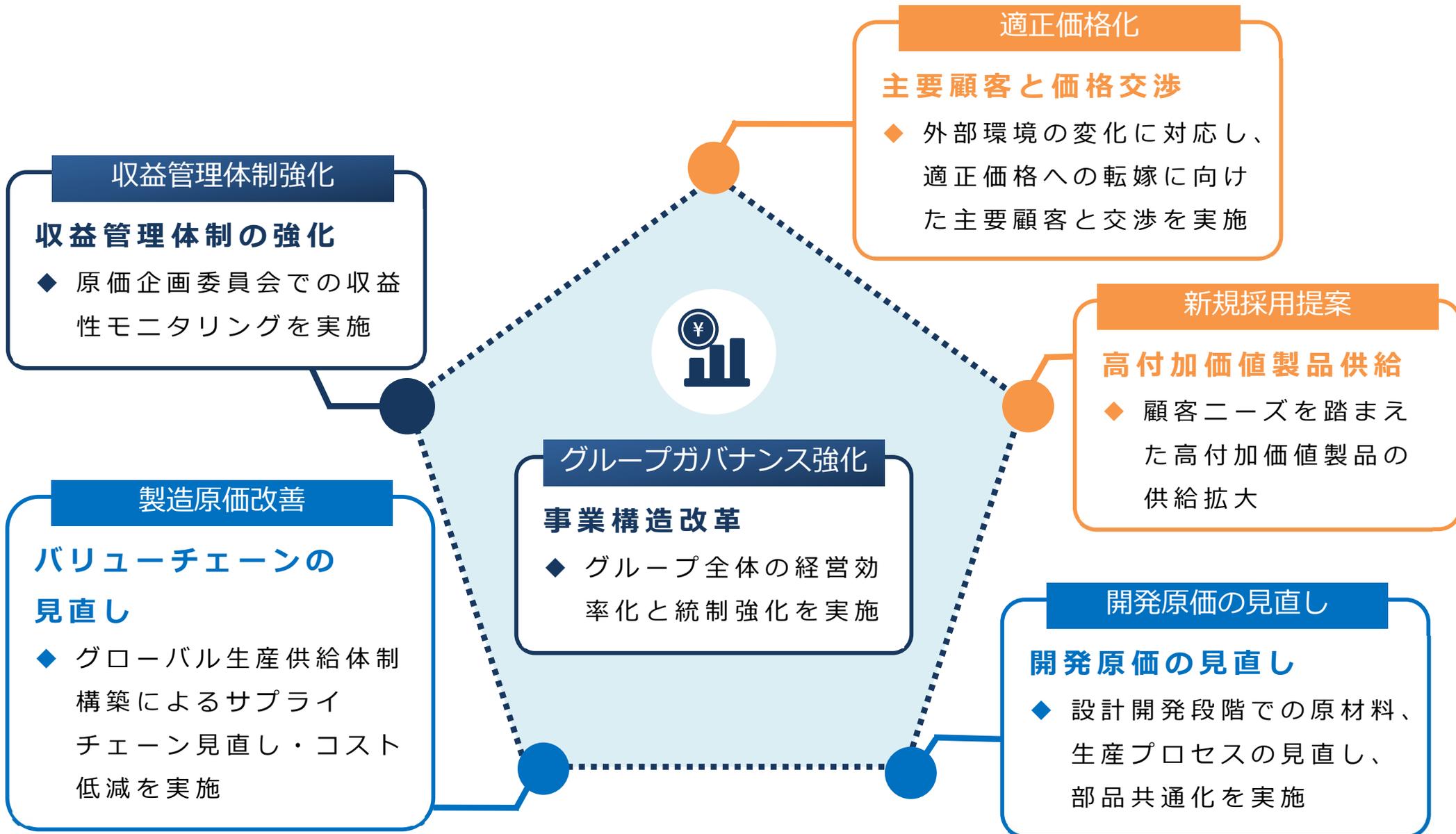
本業の稼ぐ力の改善と
経営基盤の再構築



ESG経営の
実践



資本コストや株価を
意識した経営の実現



目指すべきこと

サステナブルな社会の実現

取り組むべきテーマ

健康



空気



環境



事業を通じた強みの発揮

The Specialist in Filtration
YAMASHIN 

ESG 経営の実践

建機

モノづくりを極める技術マイスター
イノベーション創出力

エア

仕濾過事

ろかじにつかふる

- ESGそれぞれの括りで攻め・守りのESG経営戦略を再定義

	E	S	G
攻め	<p>環境配慮型製品の拡大 (ロングライフフィルタ 軽量化フィルタ等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康リスク低減製品 の拡大 (NanoWHELP®、マスク等) ・ 働き方改革の推進 	<p>MAVY's経営の実践</p>
守り	<p>CO₂・水資源・ 廃棄物低減 に配慮した事業活動</p>	<p>ダイバーシティ マネジメントの推進</p>	<p>連結グループにおける コーポレート・ガバナンスの強化</p>

- ESG経営を強化した結果、外部機関からの評価が大幅に進捗

2023年6月

ESG 投資指数

FTSE Blossom Japan
Sector Relative Index

構成銘柄に初選定

(総合スコア2.7取得)

2024年2月

CDP気候変動

上位から3番目に位置する

Bスコアを取得

建機用フィルタ

既存領域の深耕

高付加価値
フィルタ

電子制御化
の推進

貨物鉄道
農業・産業機械

新規領域の探索

建機用フィルタビジネス
高付加価値フィルタ製品展開

- ・油圧用
- ・トランスミッション用
- ・燃料用

次世代油圧システムを見据えた
センサーによる電子制御化

新規分野開拓

貨物鉄道用
農機用・産業機械用

濾材開発

ロングライフ/ 環境配慮型素材開発

- 石油由来のPET樹脂
- バイオマスPETろ材開発
- 生分解性素材開発
- リサイクル循環

ろ材

新規事業領域

YAMASHIN Nano Filter®
を応用した新素材領域への進出



導電性素材

バイオマス
素材

シート素材

新・耐熱素材

M&A

エアフィルタ

営業戦略の強化



代理店ビジネス（多品種/小ロット）

- ・ビル空調用
（プレフィルタ・中高性能フィルタ）
- 直接販売（高浄度 HEPA/ULPA）

NanoWHELP®



目次

参考資料

① 当社基本情報

当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております。また、当社独自に開発した合成高分子系ナノファイバーを用いたオリジナルマスク及び取替用インナーシートの製造・販売を2020年5月より開始しております。

分野	取扱製品	製品イメージ	売上構成 2025年3月期業績見通し
建機用フィルタ	建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 様々な種類の建機		
ヘルスケア	合成高分子系ナノファイバーの特性である高捕集性能、密閉性、通気性を活かした高機能マスク、取替用インナーシート 用途: 国内外の一般消費者向け		
産業用フィルタ	様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械		
プロセス用フィルタ	顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ 用途: 電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界		
エアフィルタ	粗塵、中高機能のエアフィルタ 用途: 一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等		

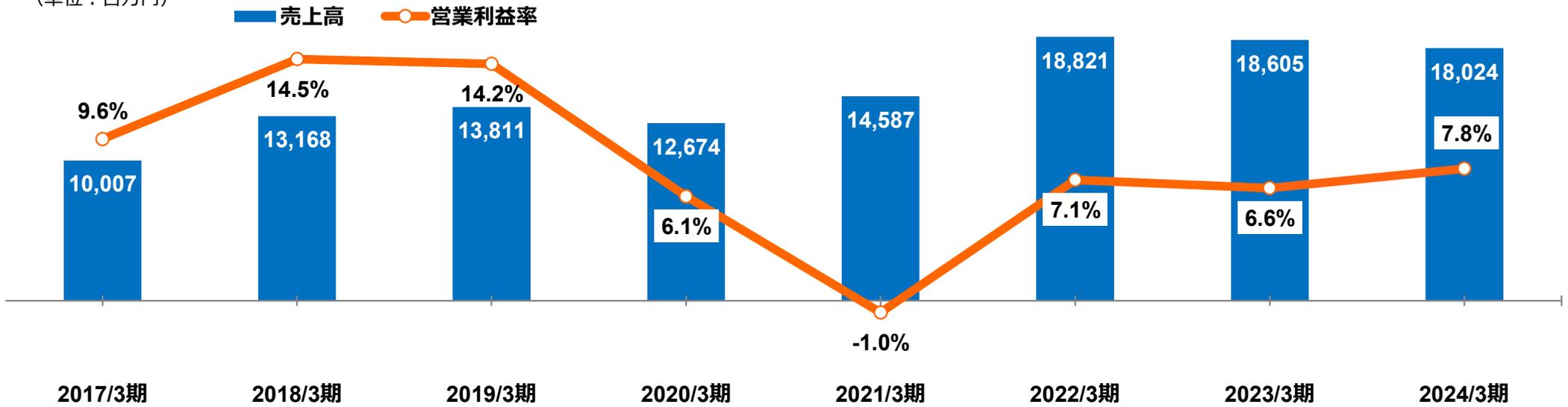
決算

参考資料

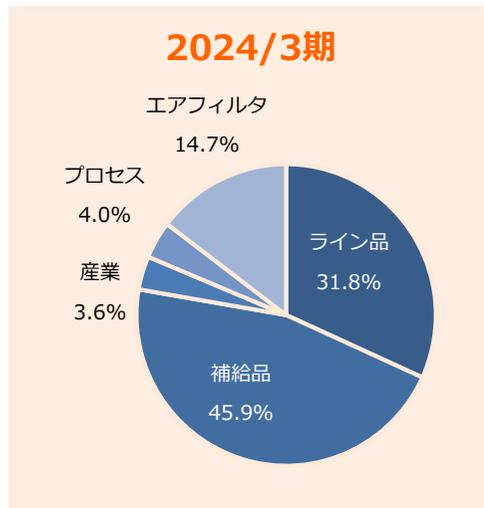
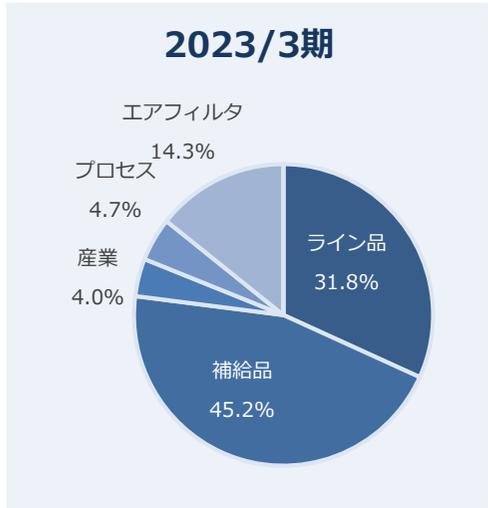
②財務ハイライト

売上高・営業利益率推移

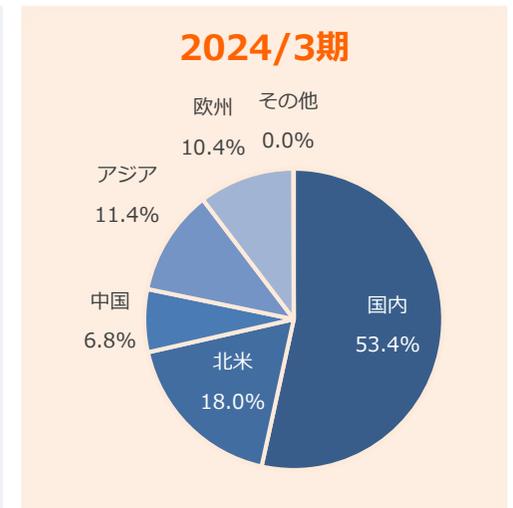
(単位：百万円)



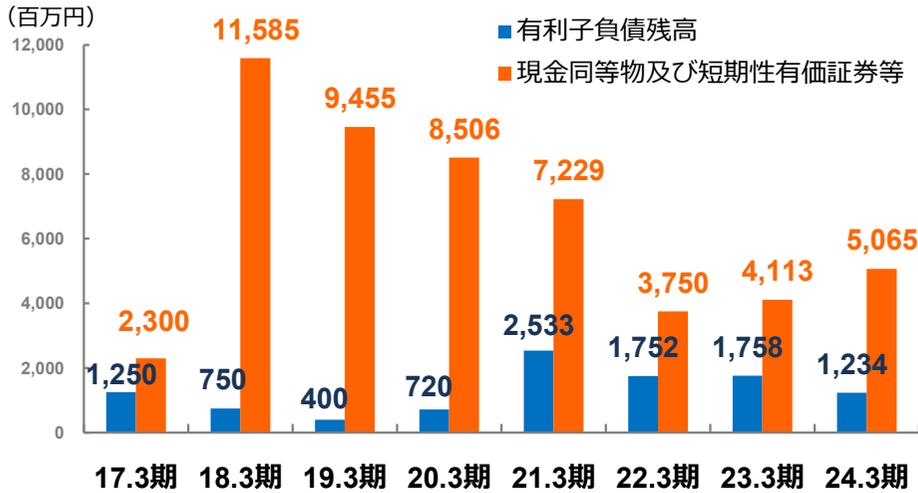
製品別売上高



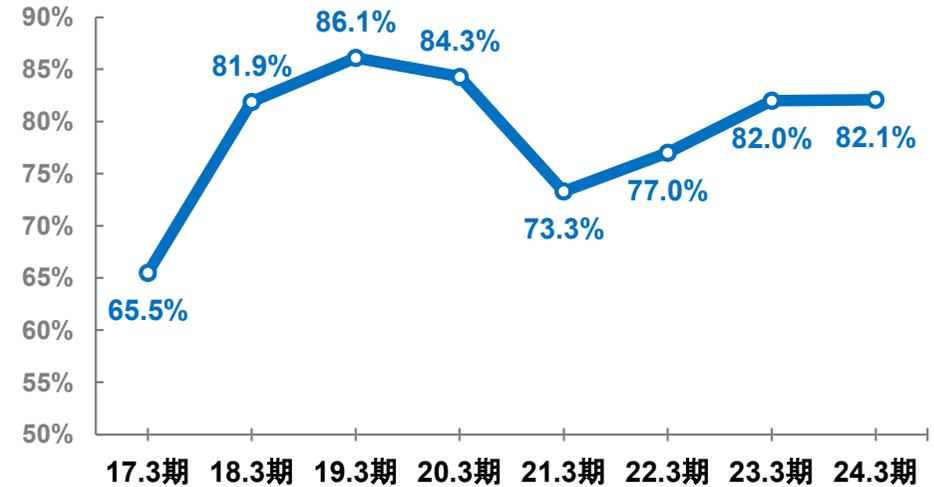
地域別売上高



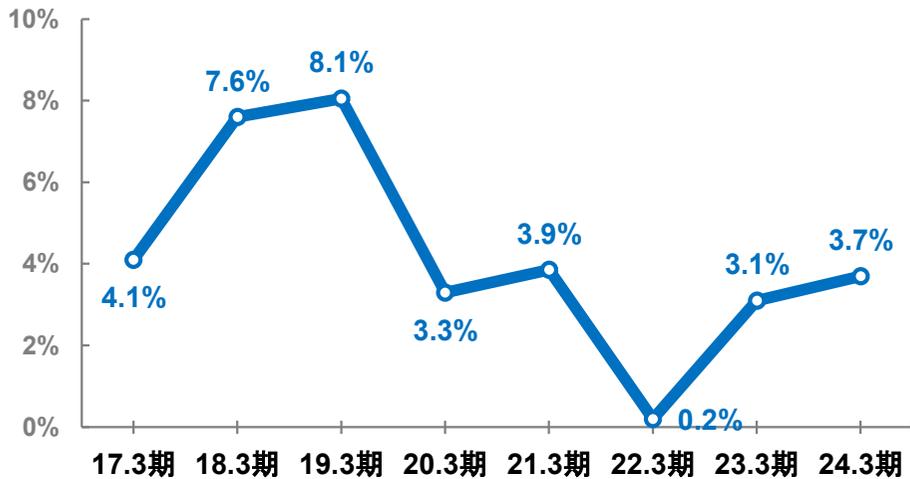
有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高



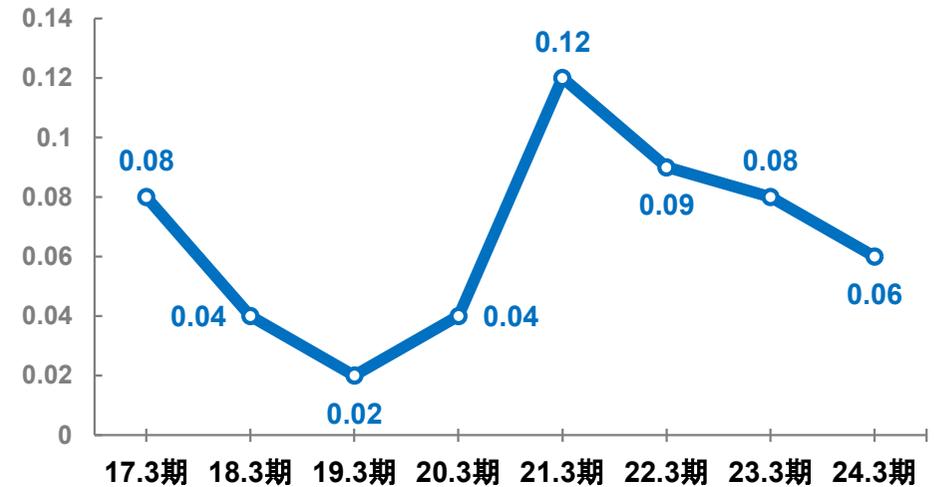
株主資本比率



ROE



D/Eレシオ



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

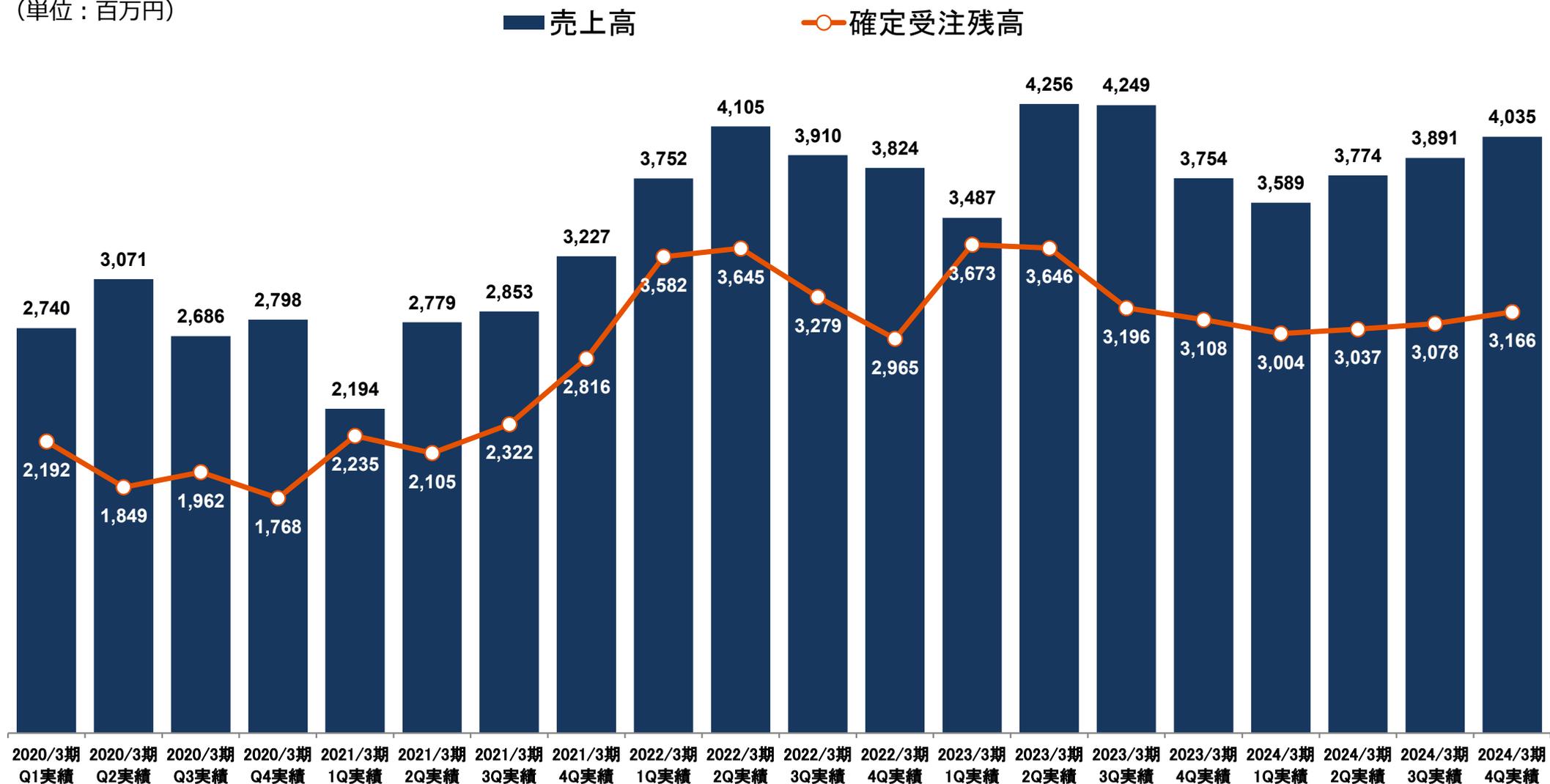
為替マリーの状況 (2023/4-2024/3)

(単位：百万)

Currency	Incoming		Outgoing		Net	期中 平均レート (JPY)	円高ケース (10%)			円安ケース (10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比	各通貨		期中平均 レート △10%(JPY)	レート差額	影響額 (YTD)	期中平均 レート +10%(JPY)	レート 差額	影響額 (YTD)
JPY	¥16,000	60%	¥13,600	55%	¥2,400	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$63.1	34%	\$64.8	38%	\$-1.7	¥144.6	¥130.17	¥-14.46	¥24.59	¥159.09	¥14.46	¥-24.59
EUR	€7.8	5%	€4.7	3%	€3.1	¥156.8	¥141.12	¥-15.68	¥-48.61	¥172.48	¥15.68	¥48.61
PHP	PP3.0	0%	PP329.6	3%	PP-326.6	¥2.6	¥2.33	¥-0.26	¥84.59	¥2.85	¥0.26	¥-84.59
THB	฿85.4	1%	฿39.2	1%	฿46.20	¥4.1	¥3.70	¥-0.41	¥-18.99	¥4.52	¥0.41	¥18.99
VND (100)	26.7 đ	0%	424.9 đ	1%	-398.20 đ	¥0.6	¥0.54	¥-0.06	¥23.90	¥0.66	¥0.06	¥-23.90
Total	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥65.48	-	-	¥-65.48

建機用フィルタ受注高の推移（四半期ベース）

(単位：百万円)



※ 売上高にはヘルスケア売上を含めておりません。

The Specialist in Filtration
YAMASHIN 



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp